

VECTORWORKS® 2022

ベクターワークス総合カタログ



WHAT IS VECTORWORKS

私たちにとって、デザインはすべての活動の中心にあります。

素晴らしいデザインは、卓越したツールによって実現します。

Vectorworksは、クリエイティブな表現と最大限の効率性を兼ね備えたツールを提供します。

あなたのアイデアは成長し、進化し、より大きなものになっていくでしょう。

アイデアがどれほど壮大になろうとも、素早くその先へと導きます。

自由な発想とデザインに限界はありません。Vectorworks 2022.

Vectorworks Lineup

Vectorworks 2022は、汎用作図機能を搭載した基本製品のFundamentals（ファンダメンタルズ）、BIM対応の建築・インテリアデザイン向け製品のArchitect（アーキテクト）、ランドスケープデザイン向け製品のLandmark（ランドマーク）、ステージ&ステージライティングデザイン向け製品のSpotlight（スポットライト）、そして全製品の機能を搭載した最上位製品、Design Suite（デザインスイート）の5製品のラインアップをご用意しています。



Vectorworks 2022 シリーズの基本製品

Vectorworks Fundamentals

Vectorworks Fundamentalsは、2D/3D汎用作図機能に、プレゼンボード作成機能や図面と連動できる表計算機能など、数多くの基本作図機能に加え、高品質レンダリング&3Dビジュアライズ機能を搭載したVectorworksシリーズの基本製品です。



BIM対応の建築設計、インテリアデザイン支援機能を搭載した建築/内装業界向け製品

Vectorworks Architect

Vectorworks Architectは、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的なBIM・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。



都市計画・ランドスケープデザイン支援機能を搭載した都市計画/造園業界向け製品

Vectorworks Landmark

Vectorworks Landmarkは、地形モデルや多彩な植栽、灌水設備計画等に対応するランドスケープデザイン支援機能、さらには豊富な造園向けのデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。



ステージデザイン・舞台照明計画支援機能を搭載したエンタテインメント業界向け製品

Vectorworks Spotlight

Vectorworks Spotlightは、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。



すべての設計支援機能を搭載した最上位製品

Vectorworks Design Suite

Vectorworks Design Suiteは、基本となる2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ機能に加え、BIM・インテリア設計支援機能、ランドスケープデザイン支援機能、舞台照明計画支援機能のすべての設計支援機能を搭載したVectorworksシリーズの最上位製品です。



✓ 基本機能

Vectorworksは2D作図、3Dモデリング、高品質レンダリング機能を標準搭載しています。どのパッケージを購入しても、図面の作成から3Dモデル生成、レンダリングパース、プレゼンボードの作成までをVectorworksだけで完結することが可能です。他のアプリケーションにデータを取り出して加工・編集する手間や工数を軽減することが可能です。

✓ 作図管理

建具や寸法線などをクラスで、各フロアの図面をレイヤで管理することで、複雑な図面の修正や確認作業を効率的に行えます。複雑な図面も、クラスとレイヤで表示/非表示/グレイ表示の3つの表示方法を切り替えることができるため、必要な情報だけを表示させるなど、効率的な作図が可能となります。

✓ 運用状況にあわせた製品タイプ

運用状況によって、製品タイプをスタンドアロン版とネットワーク版から選択できます。オフィスのデスクトップパソコンと外出用パソコンの2台で使用する場合はスタンドアロン版がおすすめです。ネットワーク版ではサーバーで同時に使用できるライセンス数を一元管理できるため、日々のライセンス使用状況を見ながら効率良くライセンスの運用が可能です。

▶ 詳しくはP17をご覧ください

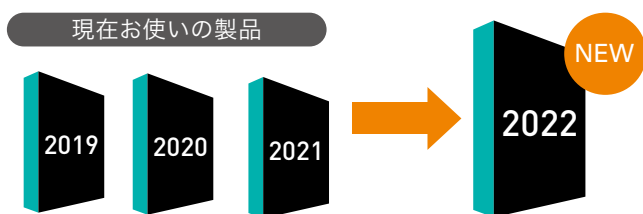
✓ Vectorworks Service Select

Vectorworksご利用ユーザーのための年間保守サービスです。ご契約期間中は、Vectorworksの最新バージョンが無償で入手できるようになるので、都度有償でバージョンアップを行うよりもお得に最新バージョンを利用可能です。

▶ 詳しくはP19をご覧ください

■ バージョンアップサービス

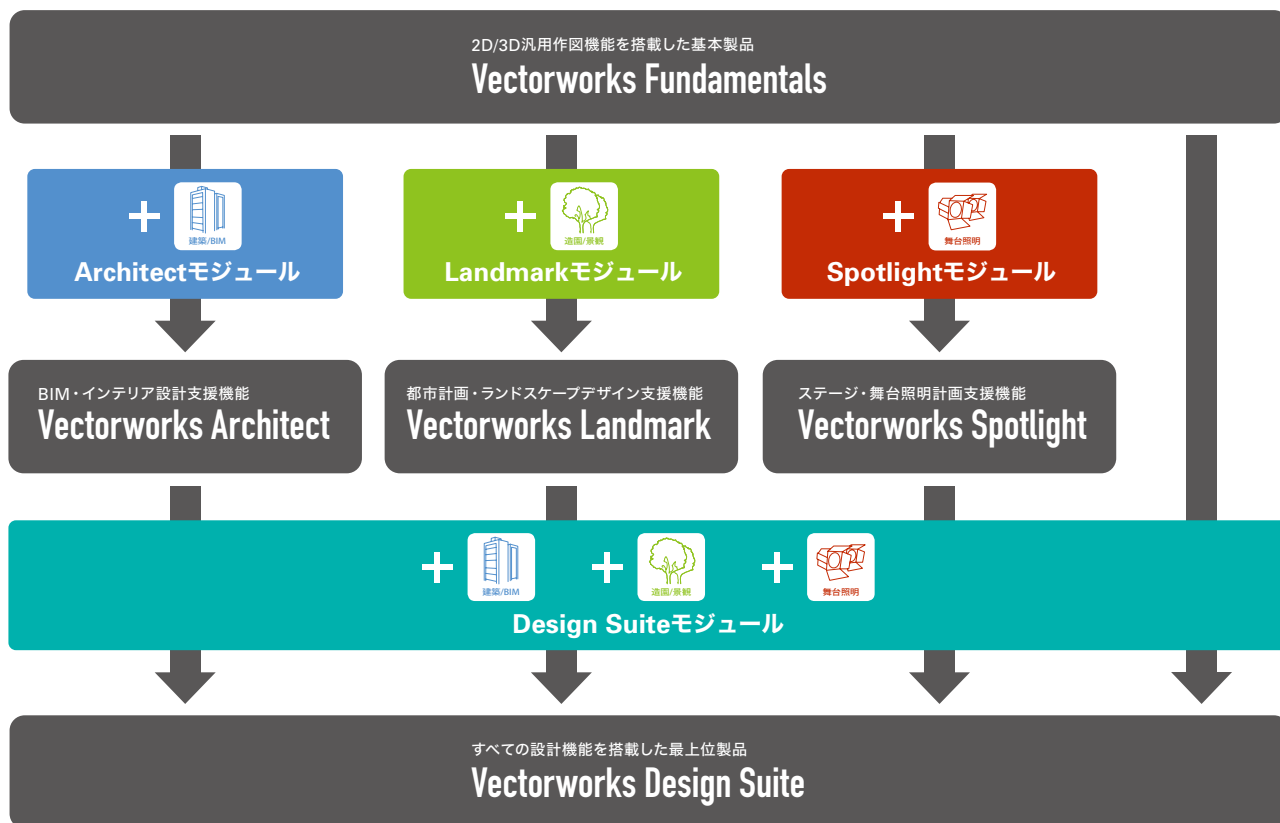
バージョンアップサービスは、現在お使いのVectorworksをVectorworks 2022にバージョンアップできるサービスです。バージョン2019～2021までのご登録ユーザーが対象です。Vectorworks 2022に新たに搭載された機能の一部を本カタログで紹介しています。グラフィックス機能がMetalとDirectXに対応したことによって、設計・デザイン環境が大きく向上した最新バージョンを是非ご検討ください。



「バージョンアップのご案内」をお送りしています。
対象ユーザーで「バージョンアップのご案内」が届いていないお客様は、お手数ですが弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

■ モジュールを追加して上位製品へグレードアップ

モジュール製品は、現在お使いのVectorworksを上位製品にグレードアップできるサービスです。モジュールの追加には最新バージョンが必要となります。旧バージョンをお使いの場合は、Vectorworks 2022へのバージョンアップが必要になります。



DESIGN WITHOUT LIMITS

限界のないデザイン

Vectorworksのインターフェイスは直感的で分かりやすく、そして作図しやすい環境を提供しています。

基本パレットには作図ツール、ツールセットには作図補助やモデリングツールが格納され、デザイナーは素早くツール群にアクセスしデザインワークに移れます。

各Vectorworks製品は固有の作業画面を備えており、業界に合わせて一連のツールとコマンドが用意されています。一般的な2Dでの描画や3Dでのモデリングに必要な基本機能をはじめ、図面によって異なるニーズに対応するために、複数の作業画面を作成することも可能です。

VectorworksはCADであり、BIMツールであり、モデラー、レンダラー、そしてプレゼンテーションツールでもあります。デザイナーの設計環境に応えるソフトウェア、それがVectorworksです。

1 基本パレット

基本パレットには、「直線」や「四角形」ツールをはじめ、さまざまなオプションが集約された作図ツールと「フィレット」や「トリミング」ツールなどの編集ツールが搭載されています。多くのツールは2D図形だけでなく、3Dモデルの作図/編集にも対応しています。

2 ツールセットパレット

ツールセットパレットには、2D/3D対応の寸法ツールが集約された「寸法/注釈」やモデリングツールが集約された「3D」など、機能別のツール群が収納されています。Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでは、建築設計向けの「建物」や造園計画向けの「敷地計画」、舞台照明計画向けの「照明」などのツールセットが搭載されており、それぞれを切り離れたフローティングパレットとして使うことも可能です。

3 属性パレット UP

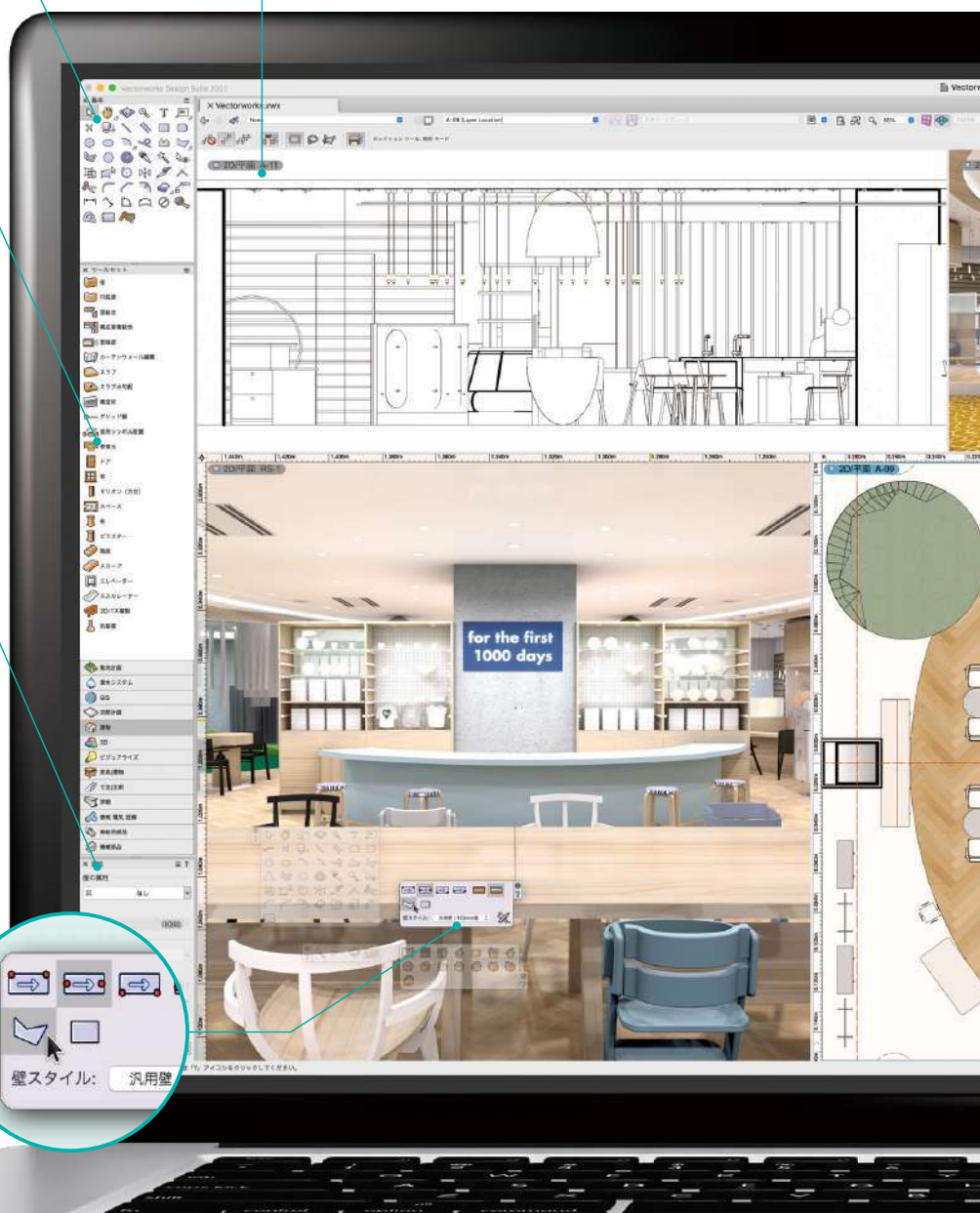
線や面図形に、線種や色/ハッチング/グラデーション、不透明度/ドロップシャドウなどを設定できます。各種設定はポップオーバーで表示されるので、作業を妨げることがありません。

スマートオプションディスプレイ

マウスカーソルのすぐそばにツールを表示する、スマートオプションディスプレイが搭載されました。スマートオプションディスプレイはカスタマイズでき、よく使うツールセット、最後に使ったツール、ツールモード、ビューなどへ少ないマウスクリックで簡単にアクセスが可能です。

4 マルチビューウィンドウ

図面と3Dモデルの正面/側面/斜め等、複数の方向から同時に確認をしながらの設計作業が可能です。クラスやレイヤの表示設定を自由に切り替えて必要なビューウィンドウを設定でき、一度に複数のデザインレイヤやビューポートを確認できます。また、作業領域を確保するためにメインモニターとサブモニターに分けることも可能です。

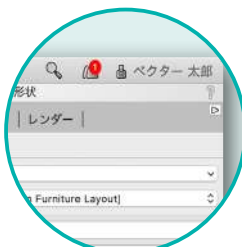


デザインワークを支えるテクノロジー

作図/モデリングエンジンには、製造系CAD/CAMの多くで使用されている、高精度な図形表現が可能な「Parasolidモデリングカーネル」を採用しています。アニメーションエフェクトや高速なズームイン/ズームアウトなどを実現する描画エンジンには、「Vectorworks Graphics Module(VGM)」を使用しています。レンダリングエンジンにはCinema 4Dフィジカルレンダリングエンジン「Cineware R23」が搭載されており、高速で高品位な3Dビジュアライズ機能を提供しています。

クイック検索/メッセージセンター/Vectorworksアカウント

虫眼鏡のアイコンをクリックするとクイック検索が起動します。使いたいツールやコマンドの名前を入力することで、目的の操作を素早く行えます。ベル型のアイコンは、アップデート情報やヒント、トレーニング、イベント情報などの通知機能です。クリックするとメッセージ内容を確認できます。また、Vectorworksアカウントへサインインすることで、米国Vectorworks社のWebサービスにアクセスが可能です。



5 リソースマネージャ

シンボル図形、テキスト、ハッチング、スタイルなど多くのリソースライブラリを視覚的に一元管理することができます。利用中の製品で使用可能なライブラリを、インターネットを通じて追加・更新することも可能です。また、頻繁に使用するライブラリを「お気に入り」に指定することで、効率よく作業を行えます。

6 オブジェクト情報パレット UP ※旧データパレット

オブジェクト情報パレットでは、選択した図形に関連する高さや幅、座標、図形が属するクラスやレイヤなどの情報はじめ、レコード、テキストなど、さまざまなオブジェクト情報が表示されます。基本図形情報のほか、建築などの専門オブジェクトでは、関連する詳細なパラメータ情報を表示します。Vectorworks 2022ではレンダータブが強化されました。

7 ナビゲーションパレット

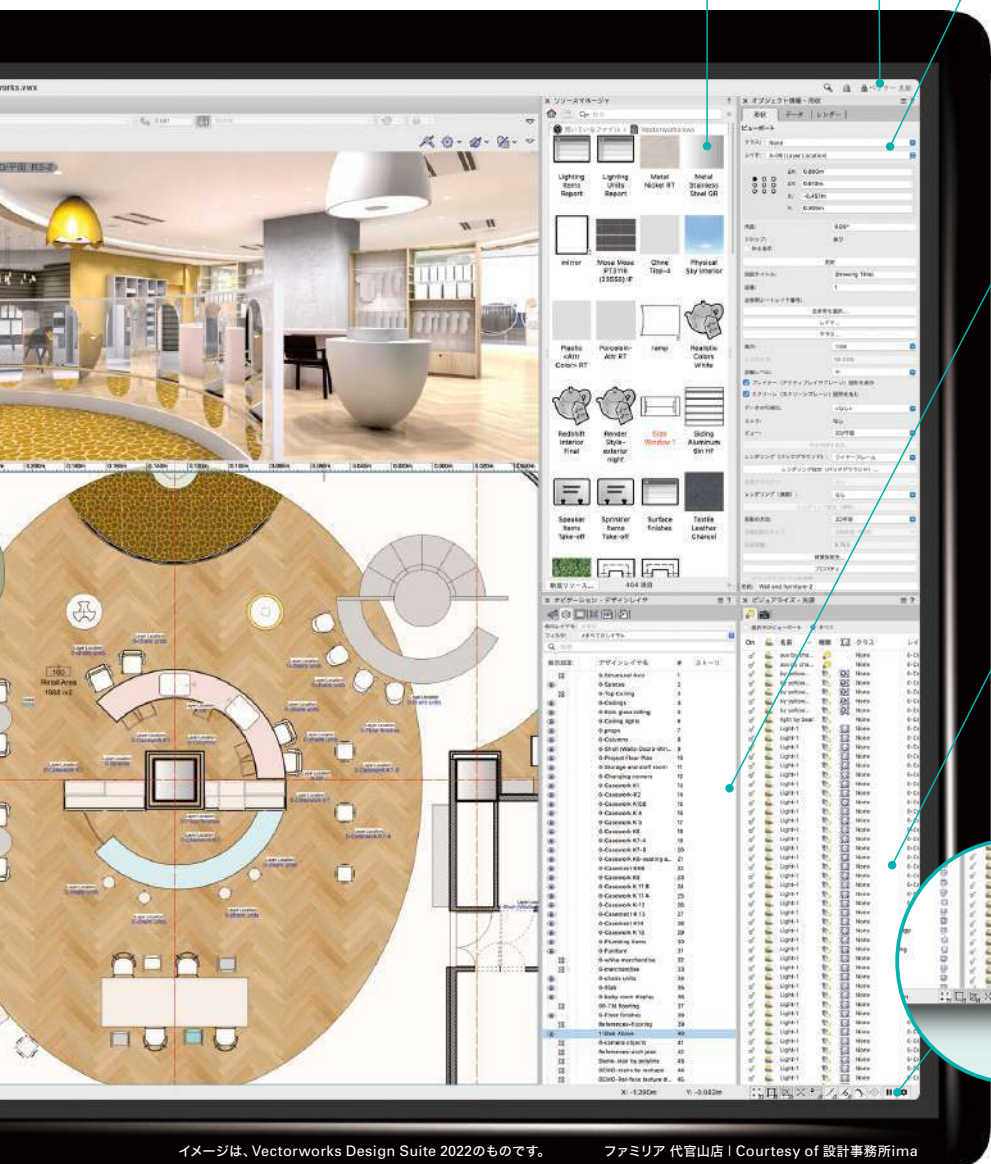
ナビゲーションパレットでは、クラスやレイヤ、ビューポート、登録画面、ファイル参照などの図面要素に簡単にアクセス/操作でき、新規作成や削除も可能です。さらに図面上の選択図形のクラスやレイヤをナビゲーションパレット上で選択したクラスやレイヤに右クリック（コンテキストメニュー）から割り当てすることも可能です。※Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでご利用いただけます。

8 ビジュアライズパレット

ビジュアライズパレットでは、図面上の光源やカメラを選択したり、光源ごとの点灯/消灯や影の有無の変更やカメラ視点を切り替えることができます。右クリックで詳細情報にアクセスし、例えば、カメラのフィルムサイズや縦横比、被写界深度や露出を変更することも可能です。

スナップセット UP

図形へのスナップをコントロールするスナップセットが搭載されています。線が重なる状況下でもマスタースナップポイントによって、優先度の高いポイントへスナップします。設定はポップオーバーで素早く切り替えられます。



イメージは、Vectorworks Design Suite 2022のもです。

ファミリア 代官山店 | Courtesy of 設計事務所ima

WHAT'S NEW 2022

Vectorworks 2022 新機能

Vectorworks 2022は、最新のAppleシリコンプロセッサ上でネイティブ対応し、グラフィックス機能がMetalとDirectXに対応したことによって、設計・デザイン環境が大きく向上します。また、ソリッドモデルの各面に異なるテクスチャを設定できるようになり、再現性が高まります。さらにMaxon社のRedshiftレンダリングエンジンを搭載したことで、対象ハードウェアでのレンダリングパフォーマンスが向上します。

Vectorworksの各バージョンで搭載された機能は、こちらをご覧ください。

▶ <https://www.aanda.co.jp/whatsnew/updates.html>



PRODUCT MARK

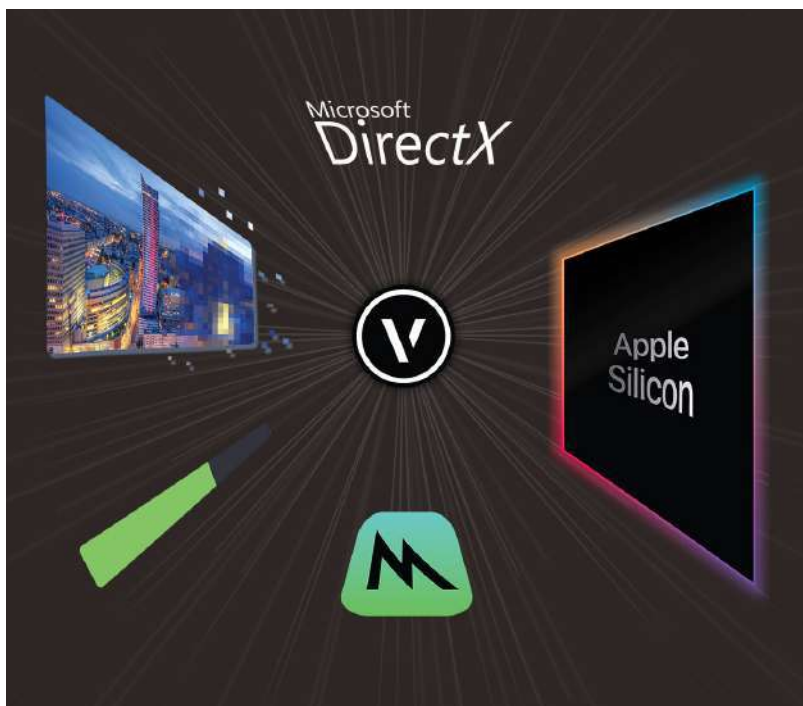
- F** Fundamentals
- A** Architect
- L** Landmark
- S** Spotlight
- D** Design Suite

各ページ内の説明には、その機能を搭載している製品を各プロダクトマークで表記しています。グレーのマークは、同機能が搭載されていない製品です。また、特に記載がない場合でもDesign Suiteにはすべての機能が搭載されています。

最先端のソフトウェアであるための次世代技術

Vectorworks 2022は、最新のAppleシリコンプロセッサ上でネイティブに動作するため、Macユーザーにスピードとパフォーマンスの向上をもたらすとともに、Vectorworksのコアテクノロジーが、将来的な再エンジニアリング計画や優先事項に対応できるようにしています。最新化の一環として、Vectorworksの重要な部分を強化し、Vectorworks Graphics Module (VGM)の技術をハードウェアに合わせて構築しています。MacではMetal、WindowsではDirectXに対応しています。ファイルパフォーマンスの向上に利用可能な最も堅牢なテクノロジーを活用することになります。

F A L S D NEW



時間を節約するRedshiftレンダリングモード

すべてのデザイナーは、デザインにかかる時間を最大限に活用したいと考えています。Vectorworks 2022では、Maxon社とのパートナーシップにより、新しいGPUアクセラレーションレンダリングモード「Redshift」を導入しています。Redshiftは、光源、反射、ボリュームライト効果、カメラエフェクト、アンチエイリアスなどの機能を使用して、デザインを犠牲にすることなくレンダリングパフォーマンスを向上します。

※Redshiftレンダリングの利用には対応ハードウェア環境が必要です。

F A L S D NEW



植栽の根域

新しい根鉢の設定により、地下も含めた植栽を表現できます。植物の根鉢用に追加されたジオメトリと指定データは、ランドスケープBIMのワークフローを完成させ、コンサルタントとより良いコラボレーションを行うために必要な重要情報を提供します。植栽オブジェクトに新たに追加された機能により、根鉢と植穴範囲の2Dおよび3D表現が可能になりました。

F A L S D NEW



デザインのカスタマイズ性を高める 面ごとのテクスチャ割り当て

テクスチャ割り当てワークフローのアップグレードにより、1つのソリッドモデルの異なる面にテクスチャをマッピングし、大きさを変更する機能などが追加されました。自由にカスタムオブジェクトを作成できるこの効率的でより知覚的な方法により、テクスチャ割り当てにかかる時間を短縮できます。さらに、オブジェクト情報パレットのレンダータブが刷新され、オブジェクトのさまざまな面のテクスチャを簡単に表示・管理できるようになりました。この機能はパラメトリックオブジェクトには適用できません。

F A L S D NEW



同期レンダリングを最大限活用する Twinmotionダイレクトリンク

Vectorworks 2022では、モデルとTwinmotionを直接リンクする機能を導入したことにより、Vectorworksで変更した内容をリンク先のファイルに簡単に反映できます。取り出しと取り込みにおける途中のステップを省略することで、時間を節約し、必要なジオメトリの品質を簡単にコントロールできます。

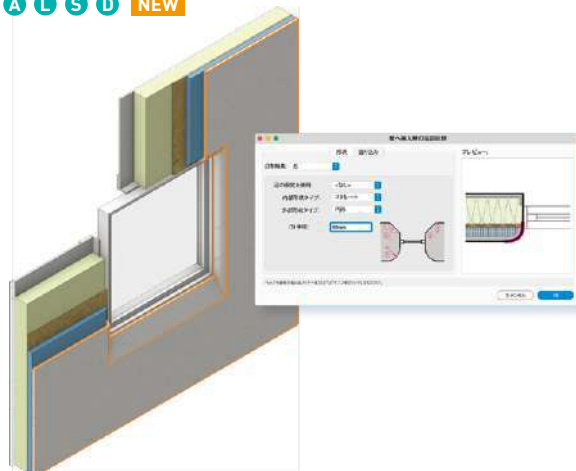
F A L S D NEW



さらに現実に近づく壁構成要素のコントロール

Vectorworks 2022では、窓やドアの開閉口に壁構成要素の回り込みを定義し、よりリアルなBIMモデルと正確な2D図面を作成できます。また、通常の壁と円弧壁を単一の壁オブジェクトに統合し、より簡単に正確なレポートを作成できるようになりました。

F A L S D NEW



ワークフロー全体が向上する 全般的なSpotlightの改善

Spotlight 2022の全般的な改良により、一般的な作業をより効率的かつ直感的に行えるようになり、照明デザインの編集や修正が容易になりました。また、全体的なビジュアライゼーション機能と精度が向上しています。いくつかの新しいコンテキストメニューコマンドでは、位置、リギングオブジェクト、器具の名称別に照明を選択できるほか、挿入ポイントを中心にデバイスグループを回転させたり、2つの照明器具の位置を入れ替えたりすることができます。

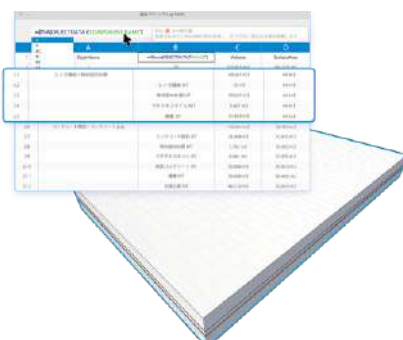
F A L S D NEW



スマートなレポートでプロジェクトの 本質を見抜くワークシートの拡張

正確なBIMモデルを作成することは、詳細なレポートや一覧表を作成することにつながります。Vectorworks 2022のワークシートの機能強化により、それが可能になりました。インターフェイスの改善により、複雑な対象オブジェクトのレポート、一覧表、材料の拾い出しの生成が容易になりました。また、ワークシートを簡素化し、複雑なモデルのレポートをより豊かにするためのビジュアルフィードバックを追加しました。再設計された条件ダイアログ、新しい検索機能のインターフェイス、新機能により改良された数式バーによって、ドキュメントと格闘する時間を無駄にせず、BIMモデリングのための時間を確保できます。

F A L S D NEW



BASIC DESIGN

基本作図機能

すべての製品に共通で搭載されている基本機能

01 クリエイティブな2D作図環境

2D作図で用いる線図形と面図形は、属性として線種や色、ハッチング、グラデーション、イメージなどが設定できるほか、不透明度設定やドロップシャドウ（影表現）効果も表現できます。さらに面同士を貼り合わせたり、切り欠いたりできるため、詳細図のような精密な図面から、プレゼンテーションで利用できるグラフィカルな図面まで幅広い表現が可能です。

F A L S D

02 カスタマイズ可能な作業画面

標準で搭載している作業画面とは別に、ユーザーが任意のツールやパレットを組み合わせる作業画面を構築できます。よく使うツールを1つのパレットに集約したり、ショートカットを割り当てることができます。Vectorworks 2022では、組み合わせたタブパレットをロックでき、不意にタブを動かしてしまうことがなくなります。

F A L S D UP



03 集中管理される図面の構成情報

DXF、DWG、DWFの画層と互換のある「クラス」をはじめ、「デザインレイヤ」、「シートレイヤ」、「ビューポート」、「ストーリー」など、図面を構成する情報は「オーガナイザ」ダイアログボックスで集中管理されています。図面構成情報が集約されているため、各情報にすぐにアクセスできます。

F A L S D

オーガナイザで管理できる情報

- ・クラス、デザインレイヤ、シートレイヤの図面構造情報
- ・天井/床/スラブ等のストーリー（階高）情報（DAのみ）
- ・ビューポート、登録画面の画面情報
- ・ファイル参照による外部ファイルの参照情報



05 イメージエフェクトでコンセプトプレゼンを素早く作成

Vectorworks上で主要な画像編集ができるため、Photoshop®やIllustrator®のような編集アプリケーションに取り出す必要はありません。イメージエフェクト機能はビューポートと取り込んだ画像に適用することができ、設計と同じソフトウェア上でプレゼンボードを作成できます。

F A L S D



06 幅広いファイル互換

Vectorworksは、幅広いファイル互換を持っています。多くの3Dソフトで利用されているOBJでは、取り込みに加えて、取り出しも可能です。DXF/DWGとのクラスやレイヤのマッピングにより、変換プロセスが容易になっています。Vectorworks 2022ではCivil 3Dから取り出したDXF/DWGに対応しました。また、イメージ取り出しはアルファチャンネルに対応しており、背景のないPNGやPSD（Photoshop形式）などの取り出しが可能です。より詳しいファイル互換については、P.25「ファイル互換一覧」をご覧ください。

F A L S D NEW

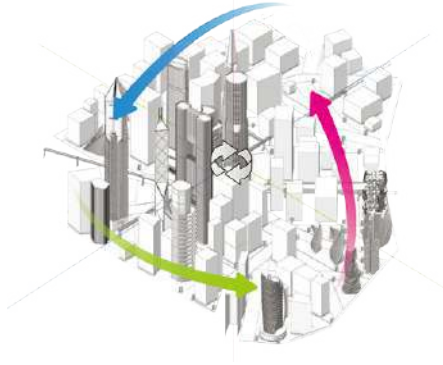


07 描画を支える Vectorworks Graphics Module

スムーズに素早く、そして信頼性の高い図面やモデルを作成するために、スクリーン描画テクノロジーであるVectorworks Graphics Moduleが重要な役目を担います。隠れたオブジェクトの非表示や遠方のオブジェクトメッシュの簡易表示、ネイティブオブジェクトの詳細レベルの簡素化などにより、高速なナビゲーションを実現します。

Vectorworks 2022では、Metal (macOS) とDirectX (Windows) に対応したため、各OSのハードウェア性能を活用できます。

F A L S D UP



09 全製品でのPDFサポート

すべてのVectorworks製品でPDF (2D) の取り出し/取り込みが可能です。デザインレイヤやクラスをPDFレイヤとして取り出すことができ、幅広いコラボレーションを実現します。取り出し時にラスターイメージを縮小するオプションが搭載されているため、よりファイルサイズの小さいPDFファイルを作成できます。

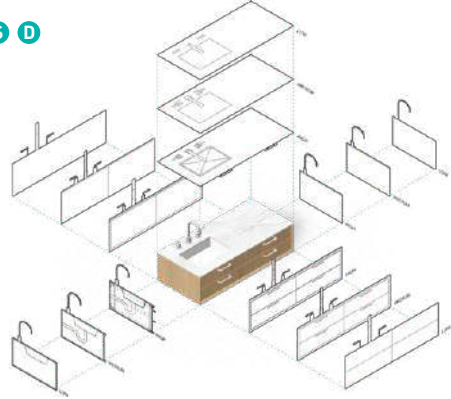
F A L S D



08 カスタマイズ可能な ハイブリッドオブジェクトの2Dコンポーネント

3D環境での作業が多くなっている今、3DモデルやBIMモデルから図面を効率的に取り出す方法が求められています。2Dコンポーネントはハイブリッドオブジェクトの2D表示を自由に設定し、シンボルやプラグインオブジェクトの詳細度を完全にコントロールできます。どのようなハイブリッドオブジェクトでも、右クリックして編集画面に入るだけで、平面図や立面図、断面図に必要な図面表現を作図できます。ユーザー定義の2Dコンポーネントがわかりやすく、削除も容易です。

F A L S D



10 図形を算出対象にできる データベース/ワークシート機能

表計算や集計を行えるワークシートとデータベース機能では、豊富な関数が図形の面積や周長などに対応し、計算式で図面上から情報を収集し、面積表や部材表を作成できます。データベースの集計作業がワークシートメニューからでき、一連の流れの中で条件や関数を選択できます。また数値は四捨五入だけでなく、切り捨てや切り上げも可能です。

Vectorworks 2022では、関数や変数がカラーリングされ、入力欄を複数行で表示できるので、視認性が高まり、ミスが少なくなります。また、検索条件ダイアログが刷新され、複雑な検索も設定しやすくなりました。

F A L S D NEW

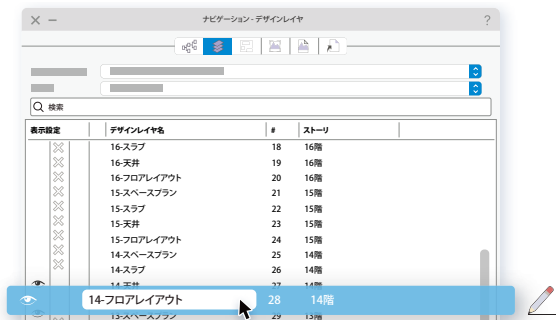
	A	B	C	D	E	F
1	番号	非居室	積(W)	高さ(H)	寸法	面積
2.1	04	浴室	1910	1910	1910 x 1910	3.648
2.2	05	洗面脱衣室	2387.5	1910	2388 x 1910	4.560
2.3	06	トイレ	1910	955	1910 x 955	1.824
2.4	07	階段室	3342.5	955	3343 x 955	3.192
2.5	08	廊下a	4297.5	955	4297 x 955	4.100
2.6	08	廊下b	955	955	955 x 955	0.912

11 リスト表示の直接編集

ナビゲーションパレットやオーガナイザダイアログボックスでは、リストブラウザのフィールドでクラス、レイヤ、ビューポート、またはシートレイヤタイトルなどの一般的な項目を直接編集できるため、ワークフローが効率的になりました。リストをクリックするだけで編集が可能のため、複数のダイアログボックスを開いて編集する必要はありません。

※ナビゲーションパレットはArchitect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでご利用いただけます。

F A L S D



12 トリミングも可能なイメージファイル

イメージファイルは取り込んで図面に配置するだけでなく、自由な形にトリミング (イメージクロップ) したり、面図形に属性として設定することが可能です。イメージの圧縮形式やサイズ、解像度、カラーモード (フルカラー/グレイスケール/白黒) などを取り込み時だけでなく、取り込み後も設定できます。

F A L S D

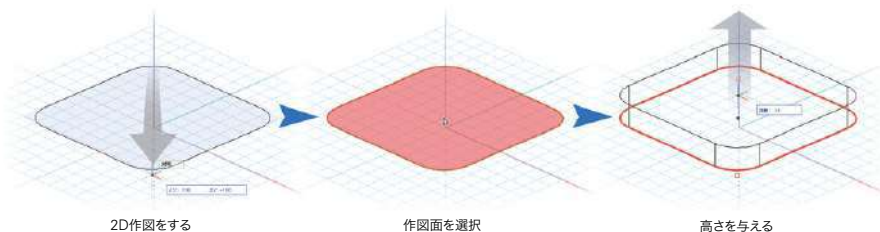


13 直感的なモデリングと多彩な編集機能

基本作図ツールでは、2Dで描いた作図面を持ち上げてそのまま3D化することが可能です。もちろん数値指定でも作成することができます。さらに作図した3Dモデル同士を組み合わせ変形するコマンドや、「3Dフィレット」「デフォーム」など作成したモデル形状をひねったり曲げたり角を丸めたりして自在に編集するツールを多数搭載しています。

さらに、複雑な曲面を持つモデルを作成する場合は「サブディビジョン」機能が活躍します。プリミティブ形状から変形したり、既存のソリッドをサブディビジョンに変換することも可能です。また、サブディビジョンの精度（滑らかさ）を5段階で調整できます。

F A L S D



バネジ (膨張/収縮)

ベンド (曲げ)



テーパ (先細/先太)

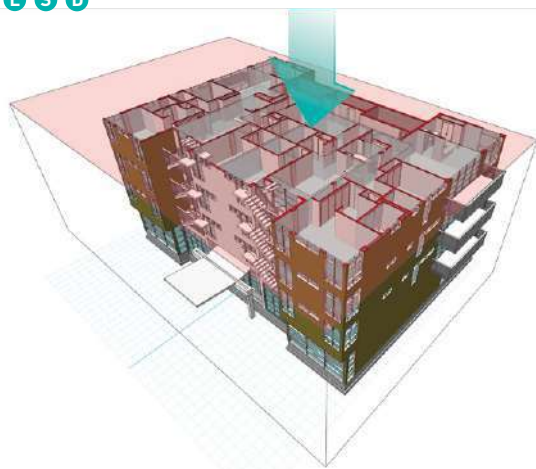
ツイスト (ひねり)

14 前後左右上下からの3Dモデル断面表示機能

「クリップキューブ」を使用すれば、3Dモデルを任意の位置でカット表示できます。カットする面となる立方体に囲われた3Dモデルを前後左右上下、どの面からでも断面を見ることができます。設計中のモデルの内部をわかりやすく確認できます。

またシートレイアウトでクリップキューブを利用して断面図やパース図を効率的に作成し、目を引くプレゼンテーション資料の作成が可能です。

F A L S D



15 3Dパノラマビューで、インタラクティブ体験を

リアリティのあるRenderworksレンダリングをパノラマビューで取り出すことができます。Webビューとは異なり、空間内を移動することはできませんが、Cinewareを使った美しいレンダリング空間をインターネットブラウザ、またはスマートデバイス、VRゴーグルなどを通して360度見渡す、リアルなインタラクティブ体験が可能です。

F A L S D



16 高いクオリティを実現する3Dレンダリング

Vectorworksの3Dレンダリング機能には、基本となる「シェイドレンダリング」をはじめ、図面として利用しやすい「隠線レンダリング」、立体感のある「ポリゴン（陰なし）/ポリゴンレンダリング」と、レンダリングエンジン（Cineware R23）を使用した写真のようなリアルなビジュアルを再現する「Renderworksレンダリング」、セル画や鉛筆などのアーティスティック表現を行う「アートRenderworks」が可能です。テクスチャは、色（イメージやカラーなど）や反射、透明、バンプなどの各属性を設定して作成できるほか、付属のテクスチャやCinema 4Dのテクスチャファイルを取り込んで適用できます。

光の反射回数を設定する「間接光」や「環境光」の機能を使うことで、光源の数や配置で悩むことなく簡単に空間全体の自然な明るさを表現でき、「ソフトシャドウ」で影の減衰を、「アンビエントオクルージョン」で入隅の影を表現することで、よりリアルなパース作成を可能にします。

Vectorworks 2022では、新たにGPUレンダラー「Redshift」を搭載したため、GPUの強力なパワーを活用できます。

F A L S D NEW



影効果あり

影効果なし



ソフトシャドウ

アンビエントオクルージョン

ENHANCED DESIGN

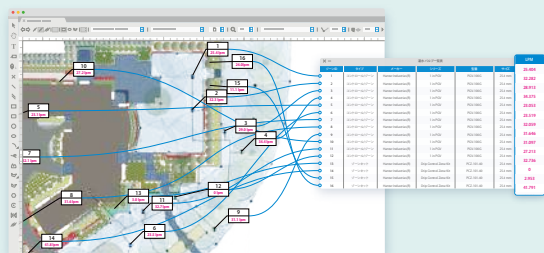
拡張作図機能

Architect・Landmark・Spotlight・Design Suiteに共通で搭載されている機能

01 素早い図面化を果たす 強化されたデータタグ

データタグは、3Dモデルやビューポートにあるオブジェクトやシンボルの情報を表示できます。個別に、または自動的に複数のオブジェクトをタグ付けし、グラフィック表示を自由にカスタマイズできます。また、データタグの情報をワークシートに集計することも可能です。Vectorworks 2022では、新たにワークシート関数をサポートし、これまでよりも柔軟で拡張性の高いデータタグを設定できます。

F A L S D UP



02 IFC参照で高速化する Open BIMワークフロー

多くのファイル形式をサポートすることによって各CADソフト、3Dソフト、グラフィックソフトとの互換を実現します。ファイルを Vectorworks にドラッグ&ドロップするだけで、取り込み設定のダイアログボックスが表示され、素早く作業に移ることができます。また、IFCファイルの参照機能により、再度取り込む手間がいらず、VectorworksのIFC情報を管理する作業が最小限になり、共同作業におけるワークフローの変更管理がさらに容易になります。

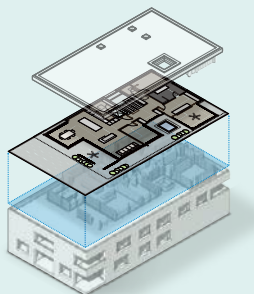
F A L S D



03 柔軟な図面表現が可能なビューポート

平面図だけでなく立面図、断面図を素早く取り出すことができます。断面図では、自由形状の3Dモデルでも建築オブジェクトと包絡処理でき、切断位置の手前や奥にあるオブジェクトの表示状態を設定することで、柔軟な図面表現が可能です。モデルを編集したい場合は、断面ビューポートをダブルクリックするだけです。また、クリップキューブの切断面や立断面記号、断面線から直接断面図を作成できます。各種ビューポートではオブジェクトの詳細度を選択でき、図面の表示レベルを制御できます。断面と展開図のビューポートでは、クラスごとのオブジェクト表示設定により、表現豊かな図面を作成できます。

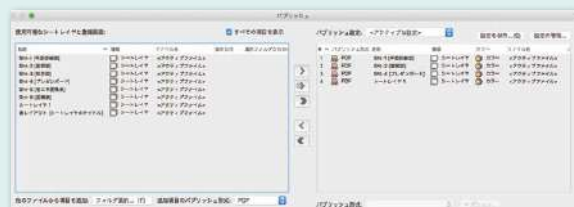
F A L S D



04 作業効率の向上

設計における作業環境を向上させる機能を搭載しています。印刷やファイルの取り出しではパブリッシュが活躍します。シートレイヤや登録画面を一括でDXFやDWG、PDFや画像に取り出すことができ、一括印刷も可能です。画面の回転では軸の振れているプロジェクトでの設計効率を向上し、カラースキームを作成する場合は、データの可視化で好みの表現を手に入れられます。

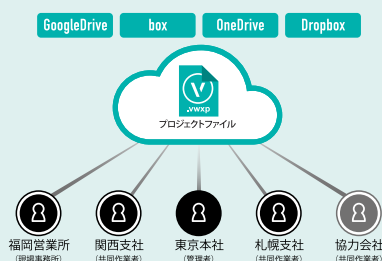
F A L S D



05 協働設計

複数人で設計を進める場合、プロジェクト共有が有効な手段です。追加のソフトウェアやコストを必要とせず、共有設定をしたファイルをサーバーに置くだけで開始できます。また、シンボルやハッチング、壁スタイルなど共通して使うリソースは、ワークグループ機能を使うことで一元管理できます。参照元のファイルを変更するだけで、全員のリソースを更新することが可能です。社内サーバーを利用したプロジェクト共有の場合、プロジェクト共有サーバーを活用できます。Vectorworks 2022では、チェックアウトされたオブジェクトのリストを確認でき、直接リリースすることも可能です。

F A L S D UP



06 提案力が向上した VRプレゼンテーション

バーチャルリアリティ (VR) 機能は、インターネットブラウザ、またはスマートデバイスを使用して設計した空間の中に入り、移動できる仮想空間体験を提供します。VRゴーグルなどで体験できるバーチャルリアリティ機能「Webビュー (3D) 取り出し」では、カスタムロゴやホワイトモデル出力、アンビエントオクルージョンに対応しています。2週間保存可能な仮置きサーバーに加え、Vectorworks Cloud Servicesサーバー、および同サーバーと同期したDropboxにも保存が可能です。

F A L S D





Asian Institute of Chartered Banks | Courtesy of GDP Architects SDN BHD and Adaptus Design System SDN BHD

01 数値で管理できる階高設定

建物の計画には高さ方向の寸法を押さえることが必要です。ストーリー機能を使うと、各階のFLを設計GLからの高さで決定できます。さらに、天井仕上げや腰壁天端などのように、1つのフロアにあるさまざまな仕上げのレベルを、各FLからのオフセット寸法として規定することが可能です。これにより、壁やスラブなどの建築オブジェクトは仕上げレベルに追従するように高さを自動的に調整します。階高が変わった場合も、1つの数値を変更するだけで建築モデルは自動修正されます。

● A ● ● ● D



02 柔軟な空間プログラム

空間は建物の内部を満たす重要な要素です。スペースツールを使うと、リビングや廊下、寝室など具体的な部屋名とともに広さを定義できます。さらに部屋に関わる多くの情報を設定でき、それらをワークシートに一覧表として集計が可能です。スペースに天井や壁などの仕上げ情報を登録することで、素早く仕上げ一覧表を作成できます。集計した情報は、ワークシートからも変更でき、モデルと一覧表の双方向編集が可能です。スペーススタイルを活用することで、モデリングを省力化し管理が容易になります。

Vectorworks 2022では、複数のスペースを選択した場合でも、オブジェクト情報パレットに合計面積が表示されるようになりました。

● A L S D UP



ARCHITECTURE & INTERIOR DESIGN

BIM・インテリア設計支援機能

Vectorworks Architectは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ (テクスチャマッピング/レンダリング等) 機能に加え、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的なBIM・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。

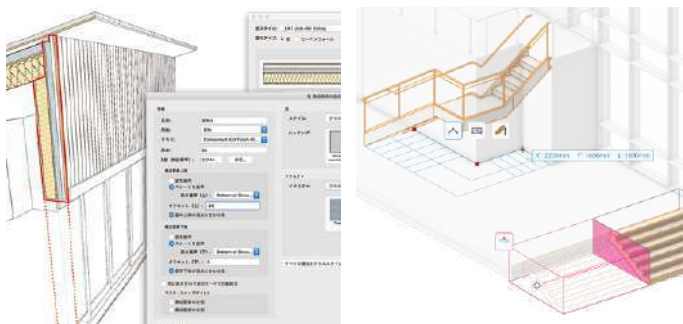


03 専用ツールで建築モデリング

多くの壁やスラブなどは単一材料ではなく、複数の材料で構成されています。それらをスタイルとして保存することで、スタイルを選びながら素早くモデリングできます。作成した壁のスタイルを変更するだけで、詳細な壁に変えることが可能です。また、スタイルを社内の標準仕様として共有できます。躯体以外についても専用ツールが搭載されているため、階段ツールや手摺ツールを使うことで、数値変更が可能な3Dモデルを作成することができます。Vectorworks ArchitectまたはDesign Suiteでは、無償提供中の「木造BIMツール」「木造建具ツール」を使うと、在来軸組や日本仕様の建具をモデリングできます。

Vectorworks 2022では、階段を直感的にモデリングできるようになりました。幅や高さなどの変形もドラッグ&ドロップでできます。

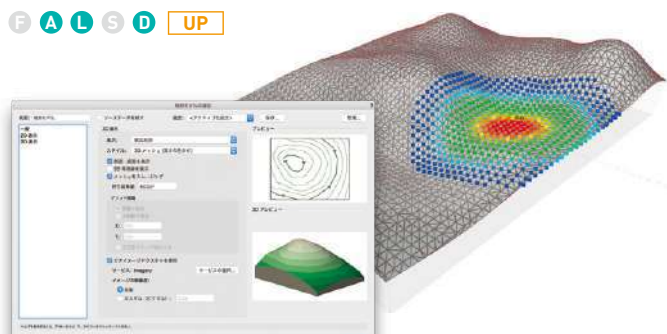
F A L S D UP



04 地形モデルの作成と編集

国土地理院の数値地図データや測量データを取り込み、現況の地形モデルを素早く作成できます。さらに造成面や法面を指定し、計画地形モデルの表示や切土/盛土の算出が可能です。部分的に舗装を変えたい場合は、テクスチャ範囲を指定することで実現できます。舗床ツールを使うと、敷地に合わせた起伏を持った通路や、通路に合わせた地形の修正が可能です。Vectorworks 2022では、地質層の構成要素を設定でき、実際の地層の表現が可能です。さらに、測点ごとに構成要素の厚みを変更できます。

F A L S D UP



05 広がるBIMモデルの活用

BIMの標準ファイルフォーマットであるIFCに正式対応しています。BIMモデルをIFCに取り出すことで、世界中にある多くのアプリケーションで活用することができます。Vectorworksに標準で搭載されているライブラリは、最新バージョンのIFC (IFC2x3, IFC4) とCOBie (v.2.4) に対応しているため、建物モデルを業界標準のIFCとCOBieに素早く確実に取り出すことができます。

Vectorworks 2022では、ジオリファレンスが含められたIFCの取り込みにも対応しています。

F A L S D UP

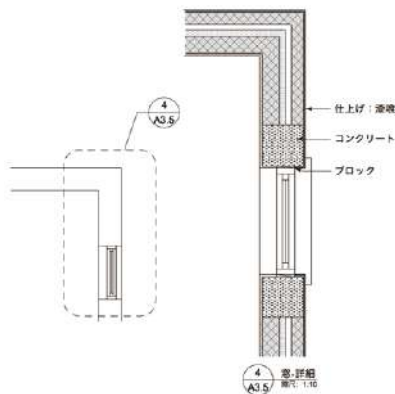


06 立面図と詳細図の作成

3Dモデルから、立面図としても利用できる最大7種類の投影図ビューポートを一度に作成できます。正投影図法や縮尺も設定でき、必要な面を一括でシートレイヤに生成します。

平面図や断面図として作成されたビューポートから詳細図(詳細ビューポート)を作成できます。「詳細ビューポート」は、生成元ビューポートのマーカとリンクしているため、図面全体から直接、詳細ビューポートに移動することが可能です。

F A L S D



07 展開図を一括生成する室内展開図

壁で仕切られた室内の4面展開図(室内展開図ビューポート)を一括で作成できます。部屋数の多い図面では、特に手数を必要とする展開図作成を4面同時に生成できるため、飛躍的に作業効率が向上します。作成された展開図は、断面ビューポート同様にダブルクリックで直接編集できます。図面とモデルの修正作業が軽減されます。

F A L S D

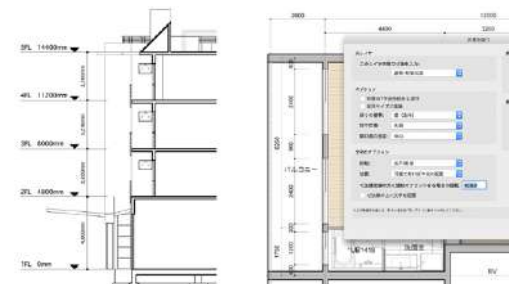


08 レベル(横断面)ツールと外壁採寸の一括生成機能

断面や立面で必要となる「レベル(横断面)」ツールでは、日本の建築設計にも対応した表現が可能です。高さ表示やマーカなどを変更できるオプションも搭載しています。平面図では、デザインレイヤ上の壁オブジェクトを認識して、寸法線を一括生成できます。躯体中心を基準に採寸でき、窓やドアも中心線、または開口部の端で採寸し、寸法線図形を一括生成します。

※外壁を採寸機能はSpotlightでもご利用いただけます。

F A L S D



国土地理院の数値地図データや測量データ、点群データを取り込み、現況の地形モデルを素早く作成できます。また敷地形状や等高線を描画して作成することもでき、ArcGISレイヤを取り込んだりオンライン画像を地表面にマッピングさせることも可能です。Vectorworks 2022では地質層の構成要素も表現できるようになりました。



2D/3Dの表現ができる植物を多数搭載。学名・樹種名・花期・用途・画像などが収録されているデータベースから、必要な情報を注釈表記して図面を仕上げられます。3D表現では、樹高と枝張りを自由にサイズ設定できるので、5年後10年後の未来予想図を提案できます。さらに、葉や花の群れでトビアール（刈込）も作成できる群葉ツールなどで、表現豊かな景観デザインを可能にします。Vectorworks 2022からは地理的座標（緯度経度）を含む樹木調査ファイルを取り込み、既存樹木を作成することもできます。



LANDSCAPE & URBAN PLANNING

03 多彩なエクステリアデザイン

門扉やフェンスなどの専用ツールやオブジェクトを搭載。テクスチャを割り当てて木目のフェンスやみす垣なども表現が可能です。また、明るい日中のほか夕方や夜に太陽光時刻を設定して、配置した屋外照明器具からライトアップされた印象的なパースを作り出すことができます。Vectorworks 2022から手摺/フェンスツールが強化され、長さの拾い出しが可能になりオフセット操作が容易になりました。

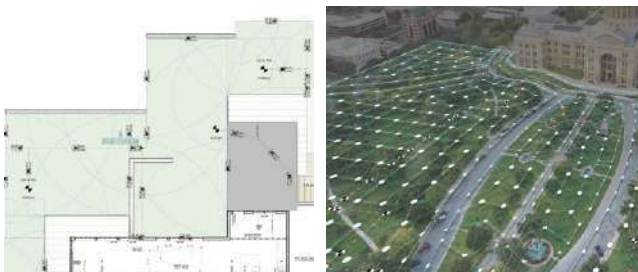
F A L S D UP



05 灌水システム

自動灌水を導入するためのシミュレーションツールを搭載。エリアを指定し、水源（接続部）・支管・バルブ・本管を作成したら、散水をポイント式とドリップ式から選択して、灌水の有効範囲を視覚的にわかりやすく表示できます。理想的な水圧や流量などの数値がわかり、それらをリスト化することも可能です。

F A L S D



07 造成面と法面

造成図形ツールを使用して、造成面を範囲指定し法面を作成することも、法面を指定し造成面を作成することもどちらも可能です。また、マウスドラッグで地形表面に直感的に凹凸を設けてモデルを編集することもできます。造成図形を作成後、切土/盛土の再計算によりワンクリックで必要土量の算出ができ、効率的な施工計画を立てられます。

F A L S D



04 便利な専用ツール

建物や時計台などの3D図形は、建築設計のように柱や壁など細かい設定をする必要はありません。専用ツールでサイズやテクスチャを選択するだけで簡単に作成が可能です。公園やランドスケープデザインに必要な道路や駐車場も専用ツールを搭載し、表層・基層・路盤などの舗装構成も、2D/3Dで表現することができます。

F A L S D



06 2D、3D 表現が可能な豊富なライブラリ

屋外で使用するテーブルや椅子、ベンチ、サンシェード、ガーデンライト、植物用のプランター、パーゴラ、トレリス、岩、石、アウトドアで使えるグリルやファイヤーピット、ブランコなどの遊具、噴水、ゴミ箱、車止めボールなど、庭や公園の構成に必要な部材は、図面にもパースにも使えるデータとして多数搭載されています。

F A L S D



08 ランドスケープエリア

地表面をハードスケープやソフトスケープなどエリア分けし、指定した範囲に複数の植物をレートや比率で設定して寄せ植えの表現が可能です。また、使用する植物の情報を一覧表として取り出すことができるのはもちろん、増減係数で乗算した面積や地形モデルの表面積を求めることができます。さらに土壌の構成要素を設定し、地形の起伏に沿った3D表現も可能です。

F A L S D





One Third Beijing | Courtesy of Live Legends

01 イベント会場の作成と編集

大きさにかかわらずイベント空間全体のプランニングをする上で必要な機能が「イベント計画」メニューとツールに集約しています。メニュー内のコマンドを順番に使用することで、部屋を作成コマンドでの壁の立上げをはじめ、ステージ、階段、演台、スクリーンの配置ができ、ステージ上で必要な要素を2D、3D同時に作ることができます。座席セクションレイアウトツールと通路ツールにより、すばやく柔軟なデザインが可能です。また、セレモニーなどで通路脇に配置するロープバリエーションは、バリエーションポールツールで作成できます。

※座席セクションレイアウトツールはArchitectでもご利用いただけます。



02 専用ツールによる劇場のプランニング機能

劇場のステージ上部にある照明や舞台美術など、さまざまな役割を持つバトンを、数値や役割を設定しながら作成できます。ストレートバトンのほか、コの字型や円弧のコーナーバトン、ラダー形状のバトンも作成できます。Vectorworks 2022では、ソフトグッツツールの柔軟性が向上し、ベースプレート、アップライト、両面ドレープのセットアップなどのオプションが増えました。また、スタイルに対応したことで、ソフトグッツを挿入した後にパラメータを調整することなく形状を変更できます。



Courtesy of Michael Helms - Radium Girls

STAGE LIGHTING & STAGE PLANNING

ステージ・舞台照明計画支援機能

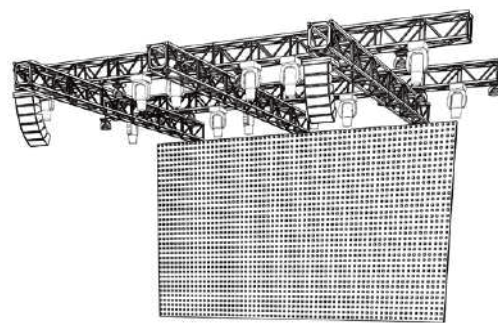
Vectorworks Spotlightは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等) 機能に加え、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。



03 複雑なデザインができるトラスツール

TOMCAT、James Thomas Engineering、Eurotrussなど国内外で使われているトラスメーカーのシンボルオブジェクトを搭載。トラス配置ツールでは、一覧から選択し任意の箇所をクリックするだけで正確に複雑なデザインのトラスを組むことができます。ヒンジプレートを使用することでトラスを自由な角度に回転して連結できリアルな表現ができます。オリジナルのトラスは、トラスツールで箱型、三角形などの形状を設定し、縦横サイズや長さを任意のサイズで入力することができます。Vectorworks 2022では、トラスの接続にマグネットの機能が追加されました。自動連結システムを使用し、マグネットの向きによって接続可能なリギングオブジェクトの向きが定義されるため、常に正しい向きで接続します。

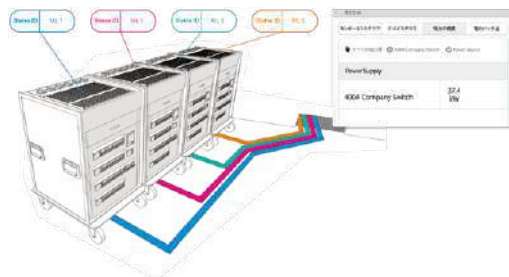
F A L S D NEW



04 ステージデザイン計画機能

野外コンサートやイベントホールで使うさまざまなステージを表現できます。高さ、幅、奥行きを設定したユニットの組み合わせによるシンプルなステージや、自由な形状を一から作図して作り上げる複雑なステージを2種類のツールで作成できます。Vectorworks 2022の新しいケーブルナビゲーションシステムでは、関連する入力と出力を選択することで自動的にケーブルが追加されます。また、リンクされたオブジェクト間にケーブルを挿入する作業が自動化され、変更が加えられると自動的にケーブルの形状が変更されるようになりました。

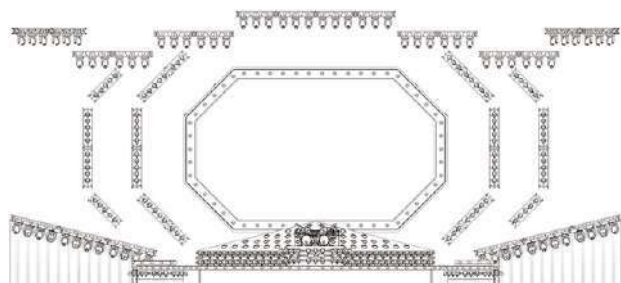
F A L S D NEW



05 専門的な照明計画機能

国内メーカーをはじめ世界中で使われている4,000種類以上の照明器具 (Lighting Device) を搭載。器具名・明るさ (ワット数)・重量・照射角度・フィールド角度があらかじめ設定され、吊りポジション・アドレス・カラー番号情報なども自由に追加できます。2D図面 (仕込図) に必要な情報はラベル機能で表示・非表示が設定でき、使用している機材を器具一覧表で自動集計することができます。また、DMXパッチコマンドでUniverseやChannelの割り当てや競合チェックができます。

F A L S D



06 ビジュアライザーとの連携

Vectorworksで作成した3DモデルをDXF、C4D、3DSなどに変換することで、照明業界などで使用されている各種ビジュアライザー (照明シミュレーションソフト) で利用できます。Visionへ取り出す際には専用コマンド「Visionへ送信」または、ESCで取り出すことができ、3Dの形状だけでなく照明機材のフォーカス方向、シャッター、Gobo情報も含めた高い互換性でデータを活用できます。MVR(GDTF)のサポートにより、ビジュアライザーやコンソールとの連携が可能です。

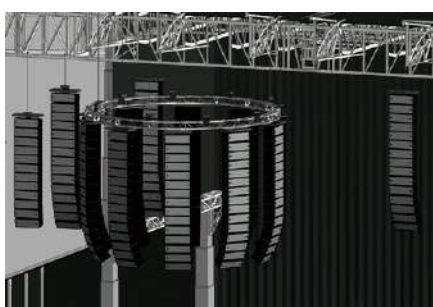
F A L S D



07 2D、3D 表現が可能な豊富なライブラリ

Yamaha、L-Acoustics、Meyer Soundなど国内外で使われているスピーカーメーカーのシンボルオブジェクトを1,000種類以上搭載。また、コンサートでは不可欠となるピアノ、オーケストラ楽器をはじめ、ライブで使用するドラムセットや、照明、音響の制御卓のライブラリも多数収録。イベント空間のゾーンを区切るためのメタルフェンスや防護柵などは、野外フェスのイメージバースの作成時にも活用できます。

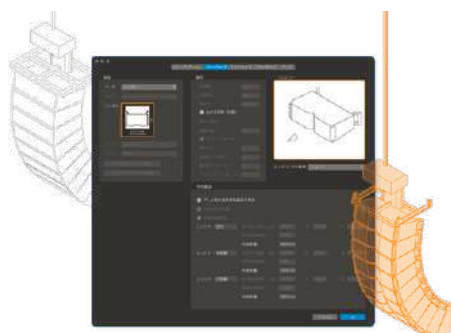
F A L S D



08 ビデオカメラツール

ビデオカメラツールを使うことで、レンズやボディ、スタンドを組み合わせ設定できます。また、スピーカ・スピーカアレイでは、データ付きのシンボルを選択することで、多くのスピーカー形状に対応が可能です。Vectorworks 2022では、カメラの傾きを設定できる幅が拡張され、設定できる数値も小数点まで入力できるようになりました。

F A L S D UP



PRODUCT TYPES

利用環境で選択できる製品タイプ

Vectorworksはご利用の環境、運用状況にあわせて、スタンドアロン版とネットワーク版の2種類の製品タイプからお選びいただけます。

インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

詳しくはこちらから

<https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/types.html>



Vectorworks 2022 スタンドアロン版



Vectorworks 2022スタンドアロン版はインターネット経由でライセンス認証してVectorworksソフトウェアを使用することができます。1ライセンスで2台のマシンにインストール可能で場所を選ばず外出先などでも作業がはかどるだけでなく、導入後のメンテナンスも容易になるため、時間やコストの削減が期待できます。1ライセンスから購入可能でオフィスと外出用パソコンの2台持ちでの利用、リモートワークにおすすめです。

インストール 可能台数

1ライセンスで2台のパソコンにインストール可能
※ 同時起動はできません

起動認証

インターネット経由のアクティベーション
※ 90日間はネットワークから切り離して利用可能

ライセンス 管理方法

インストールするパソコンごとにライセンス管理

その他

- インターネット接続環境が必須
- 正式シリアル発行はユーザー登録が必須

購入単位

1ライセンスから購入可能

利用シーン

- オフィスと外出用パソコンの2台持ちで利用したい
- リモートワーク
- SOHOなどの個人事業主

ライセンスプラン

Vectorworks サブスクリプション

詳しくはこちらから

www.aanda.co.jp/subscription/



Vectorworksサブスクリプションなら「必要なときに」「必要な種類」の「必要な期間ライセンス」をご利用いただけます。

年間サブスクリプションは、1年間サブスクリプションを維持するための費用対効果の高い方法です。トークンを1つ購入して使用すると、サブスクリプションは12か月間有効になります。年間サブスクリプションは1年間で自動的に終了しますが、トークンを追加することでいつでも簡単に使用期間延長ができます。必要なときに、必要な種類のライセンスをお求めいただける「期間利用ライセンス」のプランです。

■ 期間限定プロジェクトでの利用が可能

サブスクリプションライセンスは期間利用のライセンスです。プロジェクトでスタッフを一時的に増員し、Vectorworksを利用しなければならないときなどに有効です。コストを抑えながらの導入が可能で、必要なときに必要な種類のライセンスをお求めいただけます。

■ 製品バージョンを選んで利用が可能

プロジェクトや取引先に合わせて、Vectorworksの最新バージョンから3つ前のバージョンまでの内1つのバージョンを選んで利用が可能です。

■ 永続とサブスクを組み合わせた導入が可能

Vectorworksの永続ライセンスは引き続きご提供します。短期利用を目的としたサブスクリプションライセンスと組み合わせることで、お客様のご利用プランやシーンに合わせて導入が可能です。

■ Vectorworks サブスクリプションと永続ライセンスの主な違い

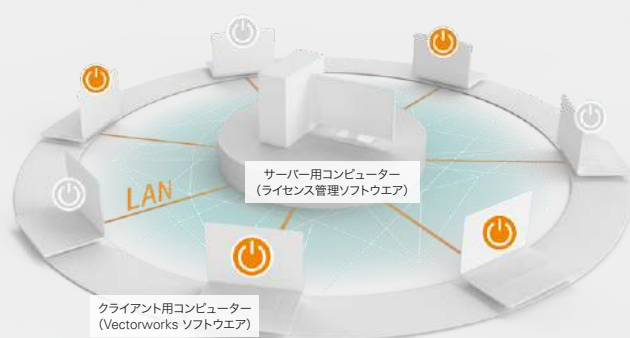
種類	サブスクリプション	永続ライセンス
利用期間	1年間(12か月)	永続
ライセンスタイプ	スタンドアロン版	スタンドアロン版 / ネットワーク版
価格(税込)	Architect Landmark Spotlight	490,600円
	Design Suite	612,700円
バージョンアップ	無償(ライセンス期間中)	有償(バージョンアップ対象は3バージョン前まで)

※表記価格は消費税を含んだ税込価格です。



Design Suite, Architect, Landmark, Spotlightの4つのプロダクト製品にサブスクリプションライセンスをご用意しています。
Fundamentalsのサブスクリプションライセンスのご提供はございません。

Vectorworks 2022 ネットワーク版



Vectorworks 2022ネットワーク版は、サーバー/クライアント形式でライセンスを管理し、Vectorworksソフトウェアを使用することができます。サーバー用コンピュータ上のVectorworks Site Protection Server (以下、ライセンス管理ソフトウェア) が同時稼働するライセンス数を管理し、クライアント用コンピュータで、必要な時に、ライセンス管理ソフトウェアからライセンスを取得してVectorworksを起動することができます。

インストール可能台数	インストール台数の制限なし ※ 同時稼働数をサーバーで管理
起動認証	同一LAN内のサーバー用コンピュータでの認証 ※ 最長30日間のライセンス持ち出し機能が利用可能
ライセンス管理方法	サーバーでライセンス一括管理
その他	インターネット経由のアクティベーション
購入単位	5ライセンスから購入可能 ※ 追加ライセンスは1本から購入可能
利用シーン	● 複数の部署間で共同利用 ● サーバーで全ライセンスを管理したい ● 学校のパソコン教室など

特長 1 購入ライセンスは同時稼働数のみ

ネットワーク版はインストール台数の制限はありません。同時稼働ライセンスの数以上のパソコンにVectorworksをインストールでき、フローティングライセンスでの運用が可能です。OSはWindows、Macいずれも可能です。

特長 2 6ライセンスからボリュームディスカウントが適用

6ライセンス以上からボリュームディスカウントが適用されます。価格については、P.26「製品価格一覧」をご覧ください。

特長 3 ライセンス管理ソフトウェアでライセンスを一括管理

管理者は、Webブラウザでライセンス利用状況のモニタリング、ライセンス利用状況/クライアント接続状況のログ出力、ユーザー権限/ライセンス持ち出しモジュール/最大持ち出し日数などの管理が可能です。

特長 4 ライセンス持ち出し機能

ネットワーク環境から一時的に切り離しての利用が可能。外出や出張などサーバーと接続ができない場合でも、Vectorworksをご利用できます。持ち出し期間は最長30日まで設定が可能です。

どのような場合にネットワーク版は適しているのか



総務担当者

予算の関係上、
パソコン台数分の
導入が難しい



導入ライセンス数は
「同時稼働数」でOK

社内にあるパソコン台数分のライセンスを購入をしなくてもライセンスの同時稼働数の購入で済むので、費用を抑えることができます。また、6ライセンス以上からボリュームディスカウントが適用されます。



IT管理者

ライセンス
利用状況を把握
しきれない



Webブラウザで
ライセンス利用状況をモニタリング

汎用Webブラウザを介してライセンスの稼働状況の監視ができます。ライセンス利用状況/クライアント接続状況のログ出力もできるので分析にも役立ちます。



CAD設計者

専門機能を
必要な時だけ
使用したい



必要な専門機能(モジュール)を
効率的に使用

専門機能を付加するネットワーク版モジュール製品は最低限の数だけ購入すれば、必要な時に使い回すことが可能です。

SERVICE SELECT

Vectorworksご利用ユーザーのための年間保守サービス

Vectorworks Service Select (以下Service Select) は、Vectorworksご利用ユーザーのための年間保守サービスです。契約期間中、Vectorworksカスタマーポータルにて、最新バージョン（無償）が提供されます。また、専用のテクニカルサポート電話回線、インターネットLiveサポート、クラウドサービス、割引価格でのトレーニングなど、さまざまなサービスを提供します。

📍 詳しくはこちらから

<https://www.aanda.co.jp/VSS/index.html>



サービス Vectorworksをより快適にご利用いただくための各種サービス



クラウドサービスとの連携

契約期間中、契約者専用機能を含んだVectorworks Cloud Servicesをはじめ、Vectorworks 2022契約製品から直接、各種サービスを利用できます。主な提供サービスは以下の通りです。

Vectorworks Cloud Services

- 20GBのクラウドストレージ容量（非契約者は2GB）
- シートレイヤ3Dビューポートのクラウドレンダリング
- シートレイヤのクラウドPDF生成 & PDF用フォントのアップロード

Vectorworks 2022 契約製品

- 「リソースマネージャ」でのプレミアムライブラリ利用
- 「パブリッシュ」から Cloud Services への出力
- 「パノラマ取り出し」の Cloud Services レンダリングと保存



ソフトウェアアップデート

契約期間中、ソフトウェアのアップデートを提供します。サービスパック、アップデートはもちろん、契約期間中にバージョンアップが行われた場合、新バージョンを無償で提供します。対象ソフトウェアのバージョンアップ、アップデート、パッチ、バグフィックスをリリースした場合、これらを利用できます。



契約者専用コンテンツ

Service Select契約者専用コンテンツはVectorworksカスタマーポータルからのご提供となります。最新ソフトウェアのダウンロード/シリアル番号の確認、ご契約情報の確認、豊富なライブラリデータの閲覧、Vectorworks University契約者専用コンテンツなどをご提供します。



テクニカルサポート

Service Select契約者向けの優待サポートサービスです。専用電話回線による電話サポート、カスタマーポータル上の問い合わせフォームからのメールサポート、リモートサポートシステムを利用したインターネットLiveサポートの3つを利用でき、一般サポートより長い期間、長い受付時間、そして優先窓口を提供します。



トレーニングセミナーの優遇

お得なトレーニングを提供します。エーアンドエーセミナールームで開催する「リアルセミナー」をはじめ、全国どこからでも参加可能な「Webセミナー」、お客様専用カリキュラムを作成して開催するオーダーメイドの「カスタマイズセミナー」などがあります。いずれも特別価格で提供します。



旧バージョンの使用許諾

旧バージョンの使用許諾は、契約期間中にバージョンアップをした場合に、バージョンアップ前のVectorworksも使用できる権利を認めるサービスです。通常、バージョンアップを行った場合、新しいバージョンに使用権は移行しますが、Service Select契約者はバージョンアップ前の製品も併用することが可能になり、新しいバージョンへのスムーズな移行が可能になります。



その他さまざまな特典

販売中のVectorworksプラグイン製品の一部を契約者特典として無償ダウンロード提供します。また、Vectorworksネットワーク版のサーバー用ドングルが盗難あるいは、火災や自然災害などの不可抗力により損害を受けた場合には、無償で交換*します。

*このサービスは1年に1回までとなり、期間内での2回目以降は有償となります。

メリット

01

Vectorworks Cloud Services

クラウドを介して、さまざまなデバイスと図面ファイルを共有できるサービス

Vectorworks Cloud Servicesでは、Webブラウザを経由してクラウドにファイルを保存、クラウド上でPDF化されたファイルを外出先のWebブラウザを通して閲覧できます。さらにクラウドを使って3Dモデルが含まれたVectorworksファイルをレンダリングし、ブラウザや専用アプリ「Vectorworks Nomad（ノマド）」で表示することもできます。閲覧をしているPDFファイルに朱書きやマーキングができるので、打ち合わせで修正箇所をメモ書きした図面を持ち帰って、メインパソコンで修正するなどの使い方が可能です。

Vectorworks Cloud Servicesの主な機能	契約ユーザー	一般ユーザー
ストレージ容量	20GB	2GB
Dropbox、Google Driveとの統合	●	●
VWXファイルからPDFを生成	●	×
VWXファイルから3Dモデルを生成	●	●
PDFの閲覧、注釈の追加	●	●
VRモードで3Dモデルを閲覧	●	●
PDFファイルでのオブジェクトの探求	●	×
マイプレゼンテーションの作成	●	×

比較

一般ユーザーとのサービス内容の比較

	Service Select 契約ユーザー	一般ユーザー
契約者専用コンテンツ	●	×
ソフトウェアアップデート	新バージョンを無償提供	有償バージョンアップ
Vectorworks Cloud Services	20GB	2GB 一部制限があります
テクニカルサポート	契約者専用電話・email	ユーザー登録から30日間のみ電話・email
インターネットLiveサポート	●	×
トレーニングセミナーの優遇	割引価格	通常価格
旧バージョンの使用許諾	最新+過去3バージョン+過去保持履歴のあるバージョン	×
その他さまざまな特典	一部プラグインの利用が可能	×

価格メリット

バージョンアップとどちらがお得なの？

	Service Select 契約料金	1年後、新バージョンを入手したい
Vectorworks Fundamentals 2022を持っている	Service Select契約 する 81,400円 しない —	無償で入手可能 プレミアムサポート付き バージョンアップ料金 129,800円
Vectorworks Architect 2022を持っている	Service Select契約 する 107,800円 しない —	無償で入手可能 プレミアムサポート付き バージョンアップ料金 172,700円
Vectorworks Fundamentals 2010を持っている バージョンアップ対象外	新規買い直し Service Select契約 する Service Selectバンドル 413,600円 しない 通常製品 368,500円	無償で入手可能 プレミアムサポート付き バージョンアップ料金 129,800円

※Service Select契約料金は、製品ラインアップにより契約料金が異なります。※表示価格は消費税を含んだ税込価格です。※バージョンアップ料金は、2021年10月時点の価格を元に算出しています。※新規買い直しは、Service Select契約が製品に付属しているパッケージと付属していないパッケージから選択できます。

メリット

02

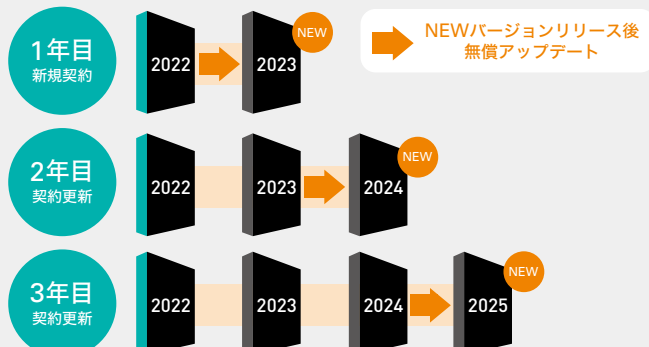
ソフトウェアのアップデート

Vectorworks Service Selectの契約期間中
常に最新のバージョンを提供

契約期間中、ソフトウェアのアップデートを提供します。サービスパック、アップデートはもちろん、契約期間中にバージョンアップが行われた場合、新バージョンを無償で提供します。たとえば作業マシンを新調した場合に、今まで使っていたVectorworksが最新のOSに対応していなくても大丈夫。すぐに最新バージョンをダウンロードして利用いただけます。



- 新バージョンはVectorworksカスタマーポータルからの提供となります。
- 新バージョンは、**契約製品と同一製品、契約ライセンス数分**のご提供となります。
- お届けの方法/納品形態は、変更になる場合があります。



PLUGIN SOFTWARE

プラグイン・関連製品

デザインワークの範囲は業種や職種、プロジェクトによっても変わってきます。Vectorworksプラグインソフトウェアは、Vectorworks 2022上で稼働し、建築設計や各種シミュレーションをサポートします。また、Vectorworksアプリケーションと併用することで、より専門的な分野や用途を強化する製品をご紹介します。

ADS-BT for Vectorworks

「ADS-BT for Vectorworks」は、Vectorworks上で建築設計における斜線制限と逆日影計算・等時間日影計算・天空率計算などの高さ制限解析をサポートするVectorworksプラグインです。（開発：生活産業研究所株式会社）

スタンドアロン版/ネットワーク版 187,000円



JWコンバータ

「JWコンバータ」は、Vectorworksにインストールすることで、建築設計におけるJw_cadとのデータ互換（JWW/JWS取り込み、JWWの取り出し）機能を追加するVectorworksプラグインです。（A&Aストアオンラインダウンロード販売のみ）

※ Vectorworks Service Select契約ユーザーは無償でご利用いただけます。

3,300円



Vectorworks素材集 3D植栽編

「Vectorworks 素材集 3D植栽編」は、情感豊かな植栽表現を可能にする3D素材集。パースに季節感をだすことができる「常緑樹」「落葉樹」「低木」「草花」など使いやすい植栽をパックにしました。建築パースにリアリティをあたえ、自然で美しい提案が可能になります。（開発：株式会社ユニマトリック）

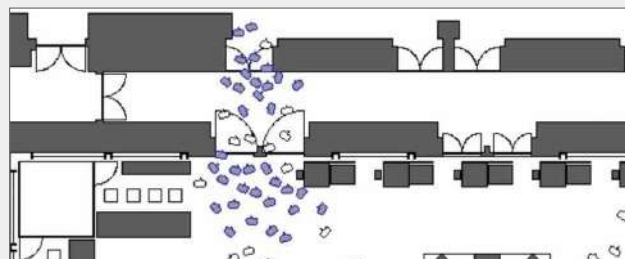
33,000円



SimTread

「SimTread」は、これまで困難だった"人の流れ"や"群集の波"を、Vectorworks上で簡単に視覚化するVectorworksプラグインです。建築物や大型イベント等における誘導計画や船舶、旅客機などの避難シミュレーションを可能にします。

スタンドアロン版/ネットワーク版 110,000円



木造BIMツール

「木造BIMツール」は、在来軸組木造用のBIMツールです。専用ツールで作成される柱や筋交い、梁、桁は、ストーリーのレベル高に追従させることができ、筋交いは、部材の長さから壁実長が計算され、タイプから壁倍率が自動計算される機能を搭載しています。

※ Vectorworks Architect または Design Suiteで無償にてご利用いただけます。



木造建具ツール

「木造建具ツール」は、木造建築設計において日本の建具を配置、図面化できるVectorworksプラグインです。日本の住宅設計でよく使用される建具を玄関ドアや室内ドアなど12のツールに集約。パラメータ変更によって100種類以上の建具(2D図面/3Dモデル)を再現できます。

※ Vectorworks Architect または Design Suiteで無償にてご利用いただけます。



※表記価格は消費税を含んだ税込価格です。

TRAINING & EDUCATION

Vectorworksを学んで、一歩先のスキルを身に付ける

エーアンドエーではVectorworksを学ぶためのお手伝いをさせていただく各種トレーニングセミナーを取り揃えています。また全国各地でのセミナーの開催、教育機関への支援のほか、スキルを評価する操作技能試験を行っています。ぜひご利用ください。

リアルセミナー



エーアンドエーセミナールームにお越しただいて開催するセミナーです。2D、3Dの基礎、建築図面、パース作成などの豊富な定例コースを用意して、弊社スタッフが習得のお手伝いをします。

▼詳しくはこちらから

www.aanda.co.jp/seminar/real/

Webセミナー



インターネット環境を使って開催するセミナーです。特定のセミナー会場まで足を運ばなくても、インターネットを通して講師の説明を受けながら、ご自宅やオフィスでVectorworksの操作演習ができます。

▼詳しくはこちらから

www.aanda.co.jp/seminar/web/

カスタマイズセミナー



オーダーメイドの講習です。実務に沿った構成や、新入社員向けの講習など、お客様のニーズに合わせたカリキュラムをご提案します。Webを使った講習もうけたまわります。

▼詳しくはこちらから

www.aanda.co.jp/seminar/custom/

Vectorworks オープンキャンパス



全国各地で出張開催するセミナーです。操作体験セミナーや有料の操作習得のセミナー、普段お困りのことを何でもご相談いただける「よろず相談」などを行います。お近くで開催の際はぜひご参加ください。

▼詳しくはこちらから

www.aanda.co.jp/seminar/OC/

Vectorworks Design Blog



Vectorworksをより深く活用するための情報サイトです。Architect・Landmark・Spotlightの各プロダクトの解説講座や、実際に多く寄せられるご質問を、詳しく解説した記事を掲載しています。

▼詳しくはこちらから

bim.aanda.co.jp/blog/

Vectorworks 操作技能認定試験



Vectorworksの操作技能の向上や社会ニーズに適った技能者の養成を目指し、操作技能を客観的に評価できる基準のひとつとして、Vectorworksの国内総販売元であるエーアンドエーが主催し実施する操作技能認定試験です。

▼詳しくはこちらから

www.aanda.co.jp/exam/

OASIS (オアシス)



Vectorworksを使った授業に取り組まれているみなさまのために設立された教育支援プログラムです。「デザインの時間をより多く」をモットーに、教育機関向けのVectorworks総合窓口として、全国のOASIS加盟校への支援サポート・サービスを提供しています。

▼詳しくはこちらから

www.aanda.co.jp/OASIS/

Vectorworks student2PRO



Vectorworksを設計のツールとして学ばれた学生のみなさまが設計者やデザイナーとなり、その培われてきた技能を継続していただくための支援プログラムとして、Vectorworks学生単年度版をご利用になられたみなさまにVectorworks製品を特別価格でご購入いただけるサービスです。

▼詳しくはこちらから

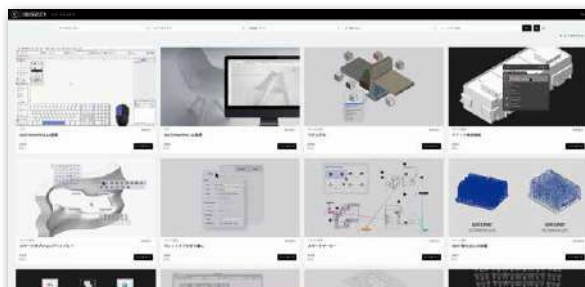
www.aanda.co.jp/student2pro/

Vectorworks University

Vectorworksを学ぶためのコンテンツを集約した、総合的な学習用サイトです。はじめてVectorworksに触れる方向けの2D、3Dの基本操作の動画のほか、経験者でも便利なテクニックを学べるTips動画など、コンテンツは順次拡大の予定です。

▼詳しくはこちらから

<https://www.aanda.co.jp/univ/>



SYSTEM REQUIREMENTS

Vectorworks 2022 動作環境

Vectorworks 2022の動作環境をご案内いたします。お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。
条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に起動しない場合があります。Vectorworksを快適にご使用いただくために、
条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めします。

最新の情報は弊社Webサイトをご確認ください。

🔗 <https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/vw2022.html>



スタンドアロン版 (永続ライセンス / サブスクリプション)			
	Windows	Mac	
OS	Windows 10 (64bit) ※ 32bit OSは非対応。	macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina)	
	エントリー	ミドル(推奨)	ハイエンド
目安となるデータの規模	• 2D図面 • 簡単な3Dモデリング	• 詳細な2D図面 • 詳細な3Dのモデリング • 小中規模BIM • レンダリング	• 詳細な2D図面 • 非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング • 大規模BIM • レンダリング
CPU	• 3GHz以上のIntel Core i5 または AMD Ryzen 5、または、それと同等のもの • Apple M1 以上	• 6コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7 または、AMD Ryzen 7、または、それと同等のもの • Apple M1 Pro 以上	• 8コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7 または、AMD Ryzen 7、または、それと同等のもの • Apple M1 Max 以上
メモリ	8GB以上	16GB以上	32GB以上
グラフィックス	2GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード • Mac: Metal GPUFamily1以上 • Windows: DirectX 11互換	4GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード • Mac: Metal GPUFamily1 v4以上 • Windows: DirectX 11互換	8GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード • Mac: Metal GPUFamily2以上 • Windows: DirectX 11互換
	• CPU内蔵グラフィックスの場合、Iris、Iris Pro / Intel Iris Plus / Intel Iris Xeグラフィックスを推奨します。Intel HD Graphics / Intel UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。 • グラフィックカード、または単体グラフィックスを推奨します。 • 過去3年間に販売されていたグラフィックカードを推奨します。 • マルチビューのすべてのウィンドウを異なる表示設定で使用する場合、2GB以上のVRAMを搭載したグラフィックカードが必要です。 • 大きなファイル容量の場合は4GB以上のVRAMを推奨します。 • NVIDIA NVSシリーズ / ATI Radeon HD 4550 / Intel GMAは動作対象外です。 • Redshiftを利用するレンダリングはRedshift動作環境をご確認ください。 • ドライバーは最新にアップデートしてご使用ください。 • 詳細は各パソコンメーカー、または販売店等へお問い合わせください。		
HDD	ハードディスク空容量 40GB以上 (オプションライブラリ30GBを含む) • フラッシュストレージ (SSD) にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。		
画面解像度	推奨1920 x 1080以上 (最小1440 x 900) 4K・Retinaディスプレイ対応		
インストール	• 製品版は1ライセンスで1ユーザーが使用している2台のパソコンにインストールできます。ただし同時起動はできません。 • Windows、Macの両プラットフォームに対応しています。 • 起動にはインターネット経由のアクティベーションが必要です。 • インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードしていただきます。 ダウンロードができない場合は、別途「Vectorworks 2022 インストールメディア (USB)」¥4,950 (税込) 型番: P27001が必要です。		
その他	• ご使用にあたり製品のユーザー登録が必要です。 • インストール、アクティベーションのためのインターネット接続環境が必要です。 • Vectorworksアカウントの作成、サインインが必要です。 • インターネット接続可能な環境でご利用の場合、Vectorworksアカウントの登録が必要です。 • 日本語OS環境でご利用ください。 • 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 • PDF閲覧のためのPDF閲覧ソフトが必要です。 • ヘルプ閲覧のためのブラウザが必要です。		

※記載されている情報は2022年3月現在のものです。



Vectorworks 2022 評価版

Vectorworks製品を導入する前に、ご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお勧めします。
評価版ではVectorworks Design Suite 2022の性能・機能をお試しいただけます。使用期限は初回起動(アクティベーション認証)後、30日間となっています。

ダウンロードはこちらから

www.aanda.co.jp/ct/dl_experience.html



Vectorworks 2022 ネットワーク版 クライアント (永続ライセンス)

動作環境	Vectorworks 2022 スタンドアロン版の動作環境に準じます。
スタンドアロン版との差異	Vectorworks クライアントから直接インターネット経由のアクティベーションは行いません。

Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア)

	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2012 R2 (64bit) ※ 32bit OSは非対応。	macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra)
起動認証方式	インターネット経由のアクティベーション ※ ドングルタイプの選択も可能です。ドングルタイプの注意事項は「その他」をご確認ください。	
CPU	Intel Core 2 Duo以上	
メモリ	4GB以上	
HDD	ハードディスク容量: 40MB以上	
その他	- サーバー専用のパソコンを推奨します。 - インターネット接続環境が必要です。 - TCP/IPプロトコルが必要です。 100Mbps以上の速度のネットワーク回線が必要です。 - サーバー/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境が必要です。 ※ サーバーとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。 - 対応クライアントアプリケーション - Vectorworks 2018~2022 ネットワーク版 - Vectorworks 2015~2017 サイトプロテクションネットワーク版 - Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズG - サーバーアプリケーション管理のためのブラウザソフトが必要です。 ※ サーバー管理画面は英語表記になります。 - インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードしていただきます。 ダウンロードができない場合は、別途「Vectorworks 2022 インストールメディア (USB)」¥4,950 (税込) 型番: P27001が必要です。 - ドングルタイプをご希望の場合、「ネットワーク版 認証用USBドングル」¥11,000 (税込) 型番: P27100の同時購入が必要です。 - ドングルタイプにはCDまたはDVDドライブ及びドングル用USBポートが必要です。	



ネットワーク版 セットアップガイド

Vectorworks ネットワーク版のサーバー、クライアントの設定手順を記載した、セットアップガイドを公開しています。Vectorworks ネットワーク版の概要をはじめとして、ライセンス管理ソフトウェアのセットアップから、Vectorworks クライアントのインストール・起動まで、ネットワーク版を使用するために必要な一連の流れを解説しています。

ダウンロードはこちらから

www.aanda.co.jp/ct/dl_manual.html

主な機能一覧

ベーステクノロジー	F	A	L	S	D
Parasolidモデリングカーネル	●	●	●	●	●
高速な描画テクノロジー (VGM)	●	●	●	●	●
Cineware R23レンダリングエンジン	●	●	●	●	●

2D/3D基本機能	F	A	L	S	D
線と面の2D汎用作図編集	●	●	●	●	●
図形への透過/影表現	●	●	●	●	●
2D/3D対応の文字・寸法作図	●	●	●	●	●
スナップブルーペ・X線選択モード	●	●	●	●	●
スマートオプションディスプレイとクイック検索	●	●	●	●	●
イメージのクロップ/圧縮	●	●	●	●	●
データベース/ワークシート	●	●	●	●	●
シートレイヤ・ビューポート	●	●	●	●	●
デザインレイヤ・ビューポート	—	●	●	●	●
オーガナイズ (図面構造の集中管理)	●	●	●	●	●
リソースマネージャ (リソースの総合管理)	●	●	●	●	●
名前の一括変換	●	●	●	●	●
ハイブリッドシンボル/2Dコンポーネント	●	●	●	●	●
フローティングデータバー	●	●	●	●	●
ウインドウタブ/パレットの切り離し	●	●	●	●	●
2D→3Dへのプッシュ/プルモード	●	●	●	●	●
多彩で強力な3Dモデリング/編集	●	●	●	●	●
統合ビュー	●	●	●	●	●
クリップキューブ (3Dモデルのリアルタイム切断)	●	●	●	●	●
2D/3D対応のワーキングプレーン	●	●	●	●	●
協働設計支援 (プロジェクト共有)	—	●	●	●	●
クラウド連携・リモート	●	●	●	●	●
DXF/DWG取り込み/取り出し	●	●	●	●	●
PDF (2D) 取り込み・取り出し	●	●	●	●	●
PDF (3D) 取り出し	—	●	●	●	●
Excelファイルの取り込み/取り出し	●	●	●	●	●
パブリッシュ (DXF/DWG/DWF/Excel)	●	●	●	●	●
パブリッシュ (PDF/印刷/イメージ)	—	●	●	●	●
3Dレンダリング	●	●	●	●	●
バックグラウンドレンダリング	●	●	●	●	●
ビューポートレンダリング	●	●	●	●	●

2D/3D基本機能	F	A	L	S	D
パースペクティブのウォークスルーアニメーション	●	●	●	●	●
写真と3Dの合成 (Camera Match)	●	●	●	●	●
イメージエフェクト	●	●	●	●	●
豊富なシェーダ	●	●	●	●	●
パララックスパンプ/シャドウキャッチャー	●	●	●	●	●
背景テクスチャ/背景放射光/フィジカルスカイ	●	●	●	●	●
コースティクスフォトン	●	●	●	●	●
ソフトシャドウ/アンビエントオクルージョン	●	●	●	●	●
Redshiftレンダリング	●	●	●	●	●
Webビュー (VR) 取り出し	—	●	●	●	●
パノラマビュー取り出し	●	●	●	●	●
Twinmotionダイレクトリンク	●	●	●	●	●

建築・内装設計機能	F	A	L	S	D
マテリアル作成	—	●	●	●	●
データマネージャとデータタグ	—	●	●	●	●
グリッド線 (通り芯) 作成	—	●	●	●	●
スペース作成 (空間定義)	—	●	●	●	●
ストーリー[階層]管理	—	●	—	—	●
構造物作図	—	●	—	●	●
柱/ピラスター作成	—	●	●	●	●
壁/カーテンウォール作成	—	●	●	●	●
スラブ/水勾配作成	—	●	●	●	●
屋根作成	—	●	●	●	●
壁/スラブ/屋根スタイル (構成要素)	—	●	●	●	●
ドア・窓作成	—	●	●	●	●
階段・手摺/フェンス作成	—	●	●	●	●
プラグインオブジェクトスタイル	●	●	●	●	●
外壁一括探寸	—	●	●	●	●
詳細図/投影図ビューポート	—	●	●	●	●
室内展開図ビューポート	—	●	—	—	●
水平/垂直/断面ビューポート	—	●	●	●	●
データの可視化 (デザインレイヤ/ビューポート)	—	●	●	●	●
ビューポートのリアルタイム編集	—	●	●	●	●
表題欄マネージャ	—	●	●	●	●
2D平面の回転	—	●	●	●	●

建築・内装設計機能	F	A	L	S	D
BIMObjectツール	—	●	●	—	●
Revitファイル取り込み/取り出し	—	●	●	●	●
IFC取り込み/取り出し/参照	—	●	●	●	●
Solibriダイレクト接続	—	●	●	●	●

都市計画・ランドスケープデザイン機能	F	A	L	S	D
GeoTIFF対応のジオリファレンス	—	—	●	—	●
オンラインGISデータの利用	—	●	●	●	●
地形モデル作成・編集	—	●	●	—	●
地形モデルの造成・土量計算	—	●	●	—	●
ランドスケープエリア作成	—	—	●	—	●
既存樹木	—	—	●	—	●
群衆の表現	—	—	●	—	●
道路・ガードレール作成	—	●	●	—	●
舗床の作成・位置合わせ	—	●	●	—	●
多機能の植栽ツール	—	—	●	—	●
植栽イメージ・植栽添景ライブラリ	●	●	●	●	●
灌漑システム	—	—	●	—	●

ステージ&ライティング計画機能	F	A	L	S	D
座席セクションレイアウト	—	●	—	●	●
パーティションボール作成	—	—	—	●	●
イベント空間計画	—	—	—	●	●
ステージステップ/スロープ作成	—	—	—	●	●
柔軟な吊り元作成	—	—	—	●	●
概略図作成	—	—	—	●	●
トラス/ヒンジトラス/ホイスト/ブライダル作図	—	—	—	●	●
照明器具データ・配置	—	—	—	●	●
多彩なフォーカス指定	—	—	—	●	●
DMX/パッチ (照明器具のパッチとトラッキング)	—	—	—	●	●
柔軟な照明用番号付け	—	—	—	●	●
スピーカー配置	—	—	—	●	●
電源やケーブルシステムの作図	—	—	—	●	●
ビデオカメラオブジェクト	—	—	—	●	●
ビデオスクリーン作図	—	—	—	●	●
GDTF編集	—	—	—	●	●

ファイル互換一覧

	F	A	L	S	D
取り込み					
DXF・DWG (R2.5~2022) / DWF (4.2・5.5・6.0) / EPSF (3.1) / イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・JP2・PNG・TIFF・ICO・ECW・[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・MAC・XBM・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT]) / PDF (v1.4) / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / スクリプト (TXT・VSS・VS・PY・PYC・XXT・MPC) / IGES (IGS・IGES) / OBJ / SAT/STEP (STP・STEP) / STL / Rhino (3DM) / Parasolid (X_T 9~33) / Cinema 4D テクスチャ (R13~24) / mtextur テクスチャ / Arrowway テクスチャ / HDRI (HDR・EXR・JPG・PNG) / Distribution ファイル (IES) / MCD (7~12) / VWX (2008~2021) / Mosa Pattern / シンボル (DXF・DWG・3DS・IGES・OBJ・SAT・SKP・STEP・STL・Rhino 3DM・Parasolid X_T)	●	●	●	●	●
IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / BCF (2.0・2.1) / Revit 2011~2022 (RVT・RFA) / 3DS / SketchUp (SKP 4~2020) / 点群 (LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY) / PartSpec (DXF・DWG・SAT・IGS)	—	●	●	●	●
Shape (SHP) / 座標データ (TXT・CSV)	—	●	●	—	●
隣接マトリックス (TXT・CSV)	—	●	—	—	●
ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW)	—	—	●	—	●
照明器具情報 (Lightwright 5~6) / MVR (1.4) / GDTF	—	—	—	●	●
取り出し					
DXF・DWG (R12~2022) / DWF (4.2・5.5・6.0) / EPSF (3.1) / HDRI / イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・HEIF・[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: JP2・TGA・EXR・PSD・KTX・ASTC・PBM]) / PDF (1.7)・PDF A-1b (1.4) / スクリプト (TXT・PY・VSS・VS) / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / データベース (TXT・CSV・DIF・SLK) / Cinema 4D (R22) / COLLADA (DAE) / FBX / IGES (IGS 5.3) / OBJ / SAT/STEP (STP・STEP) / STL / Rhino (3DM) / Parasolid (X_T 9~33) / Strata Vision / HDRI (HDR) / パノラマビュー (HTML) / アニメーション (MOV) / VWX (2017~2021) / Unreal Datasmith (4.27)	●	●	●	●	●
IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / BCF (2.0・2.1) / Revit 2022 (RVT・RFA) / 地理空間情報 (KML) / Webビュー (HTML) / 3DS/3D PDF / ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD)	—	●	●	●	●
Shape (SHP)	—	●	●	—	●
ASCII テキスト (3.0) / 照明器具情報 (Lightwright 5~6) / ESC (Vision 4~Vision 2022) / MVR (1.4)	—	—	—	●	●

製品価格一覧

表記価格は消費税を含んだ税込価格です。

スタンドアロン版

インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

	製品名	JAN	型番	標準価格
永続ライセンス	Vectorworks Design Suite 2022 スタンドアロン版	4513825012647	124207	612,700円
	Vectorworks Architect 2022 スタンドアロン版	4513825012654	124204	490,600円
	Vectorworks Landmark 2022 スタンドアロン版	4513825012661	124205	490,600円
	Vectorworks Spotlight 2022 スタンドアロン版	4513825012678	124206	490,600円
	Vectorworks Fundamentals 2022 スタンドアロン版	4513825012685	124203	368,500円
Vectorworks Service Select バンドル*	Vectorworks Design Suite 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select/バンドル)	4513825012692	C124207	655,600円
	Vectorworks Architect 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select/バンドル)	4513825012708	C124204	524,700円
	Vectorworks Landmark 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select/バンドル)	4513825012715	C124205	524,700円
	Vectorworks Spotlight 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select/バンドル)	4513825012722	C124206	524,700円
	Vectorworks Fundamentals 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select/バンドル)	4513825012739	C124203	413,600円
乗換版* (Service Select/バンドル製品)	Vectorworks Architect 2022 スタンドアロン版 乗換版	4513825012746	BC124204	451,000円
	Vectorworks Landmark 2022 スタンドアロン版 乗換版	4513825012753	BC124205	451,000円
	Vectorworks Spotlight 2022 スタンドアロン版 乗換版	4513825012760	BC124206	451,000円
スタンドアロン版 モジュール追加	Architect モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)		VRAR27	122,100円
	Landmark モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)		VRLR27	122,100円
	Spotlight モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)		VRSR27	122,100円
	Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)		VRCR27	244,200円
	Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Architect 2022への追加用)		ARCR27	122,100円
	Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Landmark 2022への追加用)		LRCR27	122,100円
	Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Spotlight 2022への追加用)		SRCR27	122,100円
サブスクリプション*	Vectorworks Design Suite サブスクリプション (1年間)		SUBD27	306,350円
	Vectorworks Architect サブスクリプション (1年間)		SUBA27	245,300円
	Vectorworks Landmark サブスクリプション (1年間)		SUBL27	245,300円
	Vectorworks Spotlight サブスクリプション (1年間)		SUBS27	245,300円

※製品購入の際、ご購入先に専用申込書または専用申込書 兼 契約申込書のご提出が必要な製品です。また、Service Selectバンドル製品は販売期間が通常製品と異なります。

ネットワーク版

インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

	製品名	型番	標準価格
Fundamentals ネットワーク版	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 基本パッケージ (5ライセンス同梱)	N270000	1,842,500円
	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計1-5ライセンス単価)	N270001	368,500円
	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計6-10ライセンス単価)	N270002	332,200円
	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計11-20ライセンス単価)	N270003	288,200円
	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計21-30ライセンス単価)	N270004	261,800円
	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計31-40ライセンス単価)	N270005	244,200円
	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計41-50ライセンス単価)	N270006	226,600円
	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計51-200ライセンス単価)	N270007	218,900円
ネットワーク版 モジュール	Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計201ライセンス以上単価)	N270008	213,400円
	Design Suite モジュール 2022 ネットワーク版	N270009	244,200円
	Architect モジュール 2022 ネットワーク版	N270010	122,100円
	Landmark モジュール 2022 ネットワーク版	N270011	122,100円
	Spotlight モジュール 2022 ネットワーク版	N270012	122,100円

※追加ライセンス単価は、同バージョン内での追加購入後の合計ライセンス数が適用となります。

インストールメディア

	製品名	JAN	型番	標準価格
インストールメディア	Vectorworks 2022 インストールメディア (USB)	4513825012838	P27001	4,950円

Vectorworks Service Select

	製品名	型番	新規契約1年	型番	更新価格1年
スタンドアロン版用	Vectorworks Service Select Design Suite スタンドアロン版	CR2712	134,200円	CR27R03	134,200円
	Vectorworks Service Select Architect スタンドアロン版	AR2712	107,800円	AR27R03	107,800円
	Vectorworks Service Select Landmark スタンドアロン版	LR2712	107,800円	LR27R03	107,800円
	Vectorworks Service Select Spotlight スタンドアロン版	SR2712	107,800円	SR27R03	107,800円
	Vectorworks Service Select Fundamentals スタンドアロン版	VR2712	81,400円	VR27R03	81,400円
ネットワーク版用	Vectorworks Service Select Fundamentals ネットワーク版	VR2712G	81,400円	VR27GR03	81,400円
	Vectorworks Service Select Design Suite モジュール ネットワーク版	CR2712G	52,800円	CR27GR03	52,800円
	Vectorworks Service Select Architect モジュール ネットワーク版	AR2712G	26,400円	AR27GR03	26,400円
	Vectorworks Service Select Landmark モジュール ネットワーク版	LR2712G	26,400円	LR27GR03	26,400円
	Vectorworks Service Select Spotlight モジュール ネットワーク版	SR2712G	26,400円	SR27GR03	26,400円

※次年度更新価格は2021年10月時点の価格を元に試算しています。価格は予告なく変更になる場合があります。



VECTORWORKS®

A NEMETSCHEK COMPANY

A&A

エーアンドエー株式会社

<https://www.aanda.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

エーアンドエー営業部

一般の方: market@aanda.co.jp

販売店: aa_sl-team@aanda.co.jp

A&Aストア・オンライン

<https://store.aanda.co.jp>

2021.5

お問い合わせ

Vectorworks, RenderworksとMiniCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。Braceworks, SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。Vision SoftwareとConnectCADはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac, macOS, Metalは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名、および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

COVER: Asian Institute of Chartered Banks | Courtesy of GDP Architects SDN BHD and Adaptus Design System SDN BHD

A&A Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 220513 DI